



Cisco IP 会議用電話 8832 マルチプラットフォーム フォンユーザガイド

初版：2019年1月30日

最終更新：2019年11月19日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The following information is for FCC compliance of Class A devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case users will be required to correct the interference at their own expense.

The following information is for FCC compliance of Class B devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If the equipment causes interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, users are encouraged to try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Modifications to this product not authorized by Cisco could void the FCC approval and negate your authority to operate the product.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2019 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

第 1 章

電話機 1

Cisco IP 会議用電話 8832	1
機能のサポート	2
このドキュメントでサポートされる電話機	2
新機能および変更された機能	3
ファームウェア リリース 11.3(1) の新機能および変更された機能	3
ファームウェア リリース 11.2(3)SR1 の新機能および変更された機能	3
電話機のセットアップ	3
会議電話機への給電方法	3
ネットワークへの接続	4
アクティベーションコードで電話を搭載します。	4
短時間のアクティベーションコードを使用して電話機を自動プロビジョニングする	5
有線拡張マイクの取り付け	5
ワイヤレス拡張マイクの取り付け	6
ワイヤレスマイクのペアリング	7
ワイヤレスマイクのペアリングの解除	7
ワイヤレスマイクの充電クレードルの取り付け	8
ワイヤレスマイクの充電	9
別の電話機からの内線へのサインイン (エクステンション モビリティ)	9
ゲストとしての電話機へのサインイン	10
ゲストとしての電話機からのサインアウト	10
電話機でのプロファイル ルールの設定	11
電話機の Web ページ	11
短縮ダイヤル番号	12

Cisco IP 会議用電話 8832 のボタンとハードウェア	13
会議電話のメニュー操作	14
会議電話のソフトキー	15
カンファレンス電話機の画面	15
電話スクリーンのクリーニング	15
有線拡張マイク	16
ワイヤレス拡張マイク	16
省電力	17
電話機の電源を入れる	17
追加のヘルプと情報	18
トラブルシューティング	18
電話機についての情報を取得する	18
電話機でカスタマイズ状態を表示	19
[ネットワーク ステータス (Network Status)] の表示	20
電話機のステータスを表示	21
電話機でステータス メッセージを表示	21
回線ステータスの表示	22
802.1X トランザクション ステータスの表示	22
リポート履歴を表示	22
電話機のすべての問題を報告する	23
電話機の Web ページで URL を使用して電話機の問題を特定する	23
電話機の接続の切断	24
電話機にプロビジョニングの障害メッセージが表示されたときに詳細情報を取得する	24
シスコ製品 (ハードウェア) に関する 1 年間の限定保証規定	25

第 2 章

通話 27

コールの発信	27
電話をかける	27
緊急コールの発信	27
番号のリダイヤル	28

短縮ダイヤル	28
電話機の画面から短縮ダイヤルコードを割り当てる	28
短縮ダイヤルコードを使用して発信	29
国際番号のダイヤル	29
安全なコール	30
コールへの応答	30
コールに応答する	30
会議電話でコール ウェイティングへ応答する	30
コールの拒否	30
着信通話を無音にする	30
応答不可をオンにする	31
スターコードを使用してDNDをオンまたはオフにします	32
コールのミュート	32
コールの保留	32
コールを保留にする	32
長時間にわたって保留されているコールに応答する	33
コールの転送	33
通話の転送	34
別の担当者にコールを転送する	34
転送を行う前の会話	34
電話会議とミーティング	35
他の人をコールに追加する	35
通話の録音	35
インスタントメッセージおよびプレゼンスの連絡先	36
プレゼンス	36
IM およびプレゼンスの連絡先に対するコールの発信	36
プレゼンス状態の変更	37
電話機のグループのページング (マルチキャストページング)	37
コールセンター機能	38
コールセンター エージェントとしてのサインイン	38
コールセンター エージェントとしてのサインアウト	38

コールセンター エージェントとしてのステータス変更	38
コールセンター コールの受信	39
エージェント コールの保留	39
コールセンター コール中の処置コードの設定	39
コールのトレース	40
スーパーバイザへのコールのエスカレーション	40

第 3 章**コンタクト 43**

複数のディレクトリで連絡先を検索する	43
社内ディレクトリ(Corporate Directory)	44
社内ディレクトリの連絡先のダイヤル	44
Broadsoft ディレクトリ	45
Broadsoft ディレクトリにて連絡先を検索	45
Broadsoft ディレクトリの連絡先タイプの編集	45
BroadSoft ディレクトリ名の編集	46
Broadsoft ディレクトリのサーバ名の編集	46
Broadsoft ディレクトリのユーザ ID の編集	46
BroadSoft ディレクトリのパスワードを編集	47
LDAP ディレクトリ	47
LDAPディレクトリにて連絡先を検索	47
個人用アドレス帳	48
個人用アドレス帳に新しい連絡先を追加	48
電話機の Webページによる個人用アドレス帳への新規連絡先の追加	48
個人用アドレス帳での連絡先の検索	48
個人用アドレス帳の連絡先へのコール	49
個人用アドレス帳の連絡先の編集	49
個人用アドレス帳から連絡先を削除する	49
着信コールおよび発信コールの名前の逆引きルックアップ	50

第 4 章**通話履歴 51**

最近の通話リスト	51
----------	----

最近の通話履歴を表示する	51
BroadWorks XSIサーバからの通話履歴を表示	52
最近の通話履歴に戻る	53
最近の通話履歴を消去する	53
通話履歴レコードからの連絡先の作成	53
コールレコードの削除	54
全ての通話履歴を削除	54

第 5 章**ボイスメール 55**

ボイスメールアカウント	55
電話機でのボイスメールのセットアップ	55
新しいボイスメッセージの確認	56
ボイスメールへのアクセス	56
音声ボイスメールへのアクセス	56

第 6 章**設定 57**

呼出音の変更	57
電話機の Web ページによる着信音の割り当て	58
特定の状況での電話機からのコールの転送	58
電話機の画面から [サイレント (Do Not Disturb)] をオンにします。	59
電話機のウェブページから DND をオンにする	59
非通知着信の拒否	60
発信者 ID のブロック	60
通話を安全化する	61
自動応答ページのセットアップ	61
ボイスメールのセットアップ	62
時間形式を変更する	62
日付形式の変更	62
電話機の Web インターフェースによるスクリーンセーバーの設定	63
スクリーンセーバーの変更	64
電話機の背景としてロゴを追加する	65

電話機のページから壁紙を変更する	65
電話機の Web ページからバックライト タイマーを調整する	66
言語の設定	66
パスワードの設定	67
プロフィールアカウントのセットアップ	67
BroadWorks XSI ユーザー用に複数のロケーションを追加	68

第 7 章

製品の安全性とセキュリティ 69

安全性とパフォーマンスの情報	69
停電	69
規制区域	69
ヘルスケア環境	69
外部デバイス	70
電話機への電力供給方法	70
ネットワーク輻輳時の電話機の挙動	70
UL 警告	71
準拠宣言	71
EU への適合宣言	71
CE マーキング	71
EU への RF 被曝に関する宣言	71
適合宣言 (米国)	71
Part 15 無線デバイス	71
適合宣言 (カナダ)	71
カナダの RF 被曝に関する声明	72
カナダの高出力レーザーに関する声明	73
ニュージーランドへの適合宣言	73
接続許可 (PTC) 一般警告	73
適合宣言 (台湾)	74
DGT の警告宣言	74
省電力およびビジュアル警告通知	75
適合宣言 (アルゼンチン)	75

適合情報 (ブラジル)	75
適合宣言 (シンガポール)	76
適合情報 (中国)	76
適合情報 (日本)	76
適合情報 (韓国)	76
適合情報 (メキシコ)	77
適合情報 (ロシア)	77
FCC 準拠宣言	77
FCC Part 15.19 宣言	77
FCC Part 15.21 宣言	77
FCC RF 被曝に関する宣言	77
FCC レシーバーおよびクラス B デジタル装置に関する宣言	78
シスコ製品のセキュリティ	78
重要なオンライン情報	78



第 1 章

電話機

- [Cisco IP 会議用電話 8832](#) (1 ページ)
- [このドキュメントでサポートされる電話機](#) (2 ページ)
- [新機能および変更された機能](#) (3 ページ)
- [電話機のセットアップ](#) (3 ページ)
- [別の電話機からの内線へのサインイン \(エクステンション モビリティ\)](#) (9 ページ)
- [ゲストとしての電話機へのサインイン](#) (10 ページ)
- [電話機でのプロファイルルールの設定](#) (11 ページ)
- [電話機の Web ページ](#) (11 ページ)
- [短縮ダイヤル番号](#) (12 ページ)
- [Cisco IP 会議用電話 8832 のボタンとハードウェア](#) (13 ページ)
- [省電力](#) (17 ページ)
- [追加のヘルプと情報](#) (18 ページ)

Cisco IP 会議用電話 8832

Cisco IP 会議用電話 8832 マルチプラットフォーム フォンは、中～大規模の会議室やエグゼクティブ オフィス向けに高解像度 (HD) のオーディオパフォーマンスと 360 度のカバレッジを提供します。会議電話のマイクは感度が高いため、通常の声で話すことができ、最大 2.1 m (10 フィート) 離れた場所からでも声をはっきりと聞こえます。

図 1: マルチプラットフォーム ファームウェア搭載 Cisco IP 会議用電話 8832



大きな会議室でのカバレッジを高めるため、電話機に2つの有線拡張マイクを接続できます。

電話機は、オプションのワイヤレス拡張マイク 2 個のセットもサポートしています。

電話機は、6.1 X 6.1 m (20 X 20 フィート) の部屋で最大 10 人まで使用できます。拡張マイクを追加すると、部屋は 6.1 X 10 m (20 X 34 フィート) に、人数は最大 22 人にカバレッジが拡張されます。

機能のサポート

このドキュメントでは、デバイスがサポートするすべての機能について説明します。ただし、すべての機能が現在お使いの構成でサポートされているとは限りません。サポート対象機能については、サービスプロバイダーまたは管理者に問い合わせてください。

このドキュメントでサポートされる電話機

このドキュメントでは、次の電話機をサポートしています。

- Cisco IP 会議用電話 8832 マルチプラットフォーム フォン

このドキュメントでは、電話機または Cisco IP 電話 という用語は上記の電話機を指します。

新機能および変更された機能

ファームウェア リリース 11.3(1) の新機能および変更された機能

リビジョン	新規および変更されたセクション
短時間のアクティベーションコードを使用した自動プロビジョニングをサポートする新しいタスクが追加されました。	短時間のアクティベーションコードを使用して電話機を自動プロビジョニングする (5 ページ)
電話画面の UDI 機能をサポートするよう既存のタスクが更新されました	電話機についての情報を取得する (18 ページ)
プロビジョニングが失敗した場合の保守性向上メッセージをサポートするタスクが追加されました。	電話機にプロビジョニングの障害メッセージが表示されたときに詳細情報を取得する (24 ページ)

ファームウェア リリース 11.2(3)SR1 の新機能および変更された機能

改訂	新規または変更されたセクション
アクティベーションコードを使用して電話機を取得するための新しいタスクを追加。	アクティベーションコードで電話を搭載します 。(4 ページ)

電話機のセットアップ

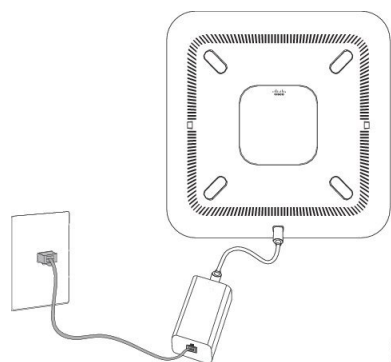
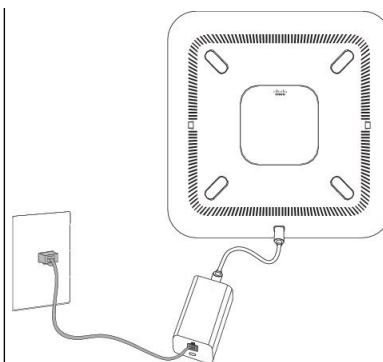
電話機のセットアップとネットワーク接続は管理者が行います。電話機の設定と接続が完了していない場合は、管理者に手順を問い合わせてください。

会議電話機への給電方法

会議電話には、次のいずれかの電源からの給電が必要です。

- Power over Ethernet (PoE)
 - 北米
 - Cisco IP 会議用電話 8832 PoE インジェクタ
 - Cisco IP 会議用電話 8832 イーサネット インジェクタ
 - 北米以外 —Cisco IP 会議用電話 8832 PoE インジェクタ

図 2: 会議電話の PoE 電源オプション

Cisco IP 会議用電話 8832 PoE インジェクタ
と PoE 電源オプションCisco IP 会議用電話 8832 イーサネット インジェクタ
と PoE 電源オプション

ネットワークへの接続

電話機を電話ネットワークに接続する必要があります。

- 有線接続：イーサネット ケーブルを使用して電話機をネットワークにつなげます。

アクティベーションコードで電話を搭載します。

電話機が起動すると、開始画面が表示され、そこでアクティベーションコードを入力できます。アクティベーションコードがない場合は、管理者に問い合わせてください。

始める前に

管理者は、xxxx-xxxx-xxxx-xxxx の形式で、16 桁のアクティベーションコードを提供します。

手順

-
- ステップ 1** [開始(Welcome)] 画面に表示されているフィールドにアクティベーションコードを入力します。コードを入力する際に、ハイフン (-) を入力する必要はありません。
 - ステップ 2** 続行を押します。電話機は、オンボードプロセスを自動的に完了します。
 - ステップ 3** エラーメッセージが表示された場合は、コードをもう一度入力するか、管理者に新しいコードを問い合わせてください。
-

短時間のアクティベーションコードを使用して電話機を自動プロビジョニングする

電話機が起動すると、開始画面が表示され、そこでアクティベーションコードを入力できます。アクティベーションコードがない場合は、管理者に問い合わせてください。

始める前に

管理者は、次のアクティベーションコードを提供します。

手順

- ステップ 1** ポンド記号（#）を押し、[開始 (Welcome)] 画面に表示されているフィールドにアクティベーションコードを入力します。
- ステップ 2** 続行を押します。
電話機は、プロビジョニングプロセスを自動的に完了します。
- ステップ 3** エラーメッセージが表示された場合は、コードをもう一度入力するか、管理者に問い合わせてください。

有線拡張マイクの取り付け

会議電話は、2つの有線拡張マイクを備えたオプションキットをサポートしています。マイクは電話機から最大 2.13 m（7 フィート）まで延長できます。最高の結果を得るには、マイクを電話から少なくとも 0.91 m（3 フィート）離して配置することをお勧めします。

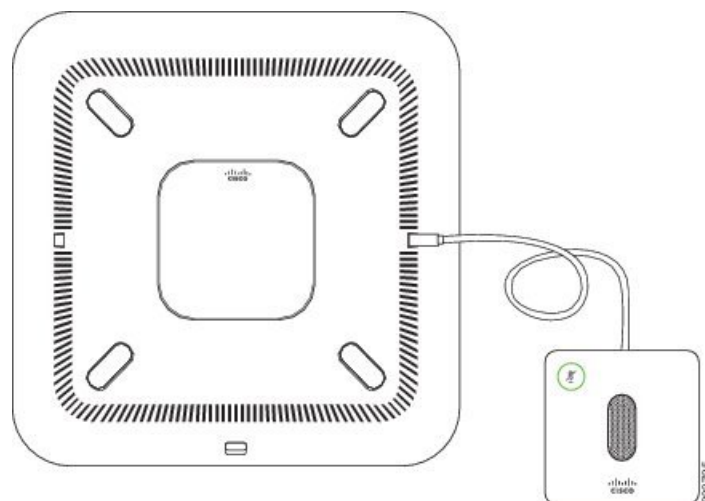


- (注) 電話機と一緒に2つの有線マイクまたは2つのワイヤレスマイクを使用できますが、2種類のマイクを組み合わせで使用してください。

手順

- ステップ 1** 会議電話の側面のポートにマイクケーブルの端を差し込みます。
- ステップ 2** マイクのケーブルを希望する位置まで延長します。
次の図は、有線拡張マイクの取り付けを示しています。

図 3: 有線拡張マイクの取り付け



関連トピック

[有線拡張マイク](#) (16 ページ)

ワイヤレス拡張マイクの取り付け

会議電話には、2つのワイヤレス拡張マイクを接続するオプションがあります。



- (注) 電話機と一緒に2つの有線マイクまたは2つのワイヤレスマイクを使用できますが、2種類のマイクを組み合わせて使用することはできません。

電話機の通話時は、拡張マイクのLEDが緑色に点灯します。拡張マイクをミュートするには、[ミュート (Mute)] キーを押します。マイクをミュートにすると、LEDが赤く点灯します。マイクのバッテリーが少なくなると、電池残量表示LEDがすばやく点滅します。

始める前に

ワイヤレス拡張マイクを取り付ける前に、有線拡張マイクを取り外します。有線およびワイヤレス拡張マイクは同時に使用できません。

手順

- ステップ1 マイクを配置するテーブルの表面で、テーブルマウントプレート置く位置を決めます。
- ステップ2 テーブルマウントプレートの底面に付いている両面テープの接着面を剥がします。テーブルマウントプレートを配置し、テーブルの表面に接着します。

ステップ3 テーブルマウントプレートにマイクを取り付けます。マイクには磁石が埋め込まれているので、ユニットが所定の場所にくっつきます。

マイクと取り付けたテーブルマウントは、必要に応じてテーブルの表面上の別の場所に移動できます。ユニットを保護するため、移動する際は慎重に行ってください。

関連トピック

[ワイヤレス拡張マイク](#) (16 ページ)

[ワイヤレス拡張マイクの取り付け](#) (6 ページ)

ワイヤレスマイクのペアリング

始める前に

すべての有線マイクを取り外します。


手順

ステップ1 設定を押します。

ステップ2 [デバイス管理 (Device administration)] > [マイク (Microphones)] > [ワイヤレスマイク (Wireless microphones)] を選択します。

ステップ3 [マイク 1 (Microphone 1)] または [マイク 2 (Microphone 2)] のいずれかを選択し、[ペア (Pair)] を押します。

マイクが既に特定のチャンネルにリンクされている場合、電話機の画面にマイクがペアリングされていることが示されます。

ステップ4 ワイヤレスマイクの [ミュート (Mute)]  を、マイクのLEDが白く点滅するまで押します。ペアリングが成功すると、電話機の画面に成功のメッセージが表示されます。

ステップ5 (任意) [キャンセル (Cancel)] を押し、[ワイヤレスマイク (Wireless microphones)] メニューに戻ります。

関連トピック

[ワイヤレス拡張マイク](#) (16 ページ)

ワイヤレスマイクのペアリングの解除

手順

ステップ1 設定を押します。

ステップ2 [デバイス管理 (Device administration)] > [マイク (Microphones)] > [ワイヤレスマイク (Wireless microphones)] を選択します。

ステップ3 [マイク1 (Microphone 1)] または [マイク2 (Microphone 2)] のいずれかを選択します。

選択したチャンネルがペアリングされている場合、[ペア解除 (Unpair)] ソフトキーが電話機の画面に表示されます。

ステップ4 [ペア解除] を押します。

関連トピック

[ワイヤレス拡張マイク](#) (16 ページ)

ワイヤレスマイクの充電クレードルの取り付け

ワイヤレスマイクの電池を充電するには、充電クレードルを使用します。

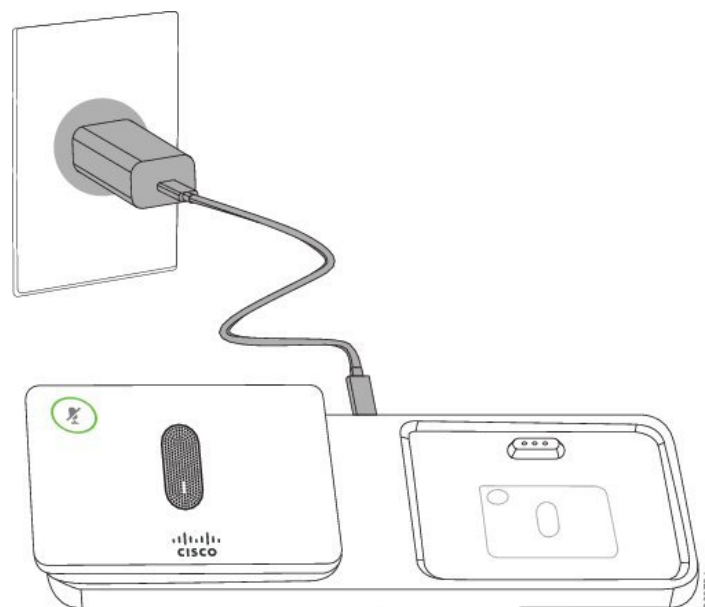
手順

ステップ1 充電クレードルの電源アダプタを電源コンセントに差し込みます。

ステップ2 充電クレードルに USB-C ケーブルの一方の端を差し込み、もう一方の端を電源アダプタに差し込みます。

次の図は、ワイヤレスマイク充電クレードルの取り付けを示しています。

図4: ワイヤレスマイクの充電クレードルの取り付け



関連トピック

[ワイヤレス拡張マイク](#) (16 ページ)

ワイヤレスマイクの充電

始める前に

ワイヤレスマイクの充電クレードルを取り付けます。詳細については、[ワイヤレスマイクの充電クレードルの取り付け](#) (8 ページ) を参照してください。

手順

ステップ 1 充電クレードルにマイクを置きます。

ステップ 2 クレードルの LED が白ではない場合は、マイクを取り外し、再度置きます。

関連トピック

[ワイヤレス拡張マイク](#) (16 ページ)

別の電話機からの内線へのサインイン (エクステンションモビリティ)

エクステンションモビリティが設定されている場合は、ネットワーク内の別の電話機にサインインして、自分の電話と同じように操作することができます。ログイン後、電話機は個人の電話番号を使用します。

始める前に

管理者はプロビジョニング権限を設定します。

手順

ステップ 1 [サインイン (Sign in)] を押します。

ステップ 2 ユーザ名とパスワードを入力し、[サインイン (Sign in)] を押します。

パスワードフィールドでは、英数字と数字の2種類の入力方法を使用できます。パスワードを入力する際、電話機に [オプション (Options)] ソフトキーが表示されます。このソフトキーを使用して、現在のパスワードの入力タイプを変更します。英数字で入力する場合は [すべて入力 (Input all)] を選択し、数字を入力する場合は [数字の入力 (Input num)] を選択します。管理者は、電話機の Web ページでパスワードの入力方法を設定します。

ステップ3 内線からサインアウトするには、[サインアウト (Sign out)] を押します。

ゲストとしての電話機へのサインイン

管理者が電話機でホテリングを有効にしている場合、電話機にゲストアカウントがあります。ネットワーク内の別の電話機にゲストとしてサインインすることができます。

手順

ステップ1 [サインイン (Sign in)] を押します。

ステップ2 ユーザ ID とパスワードを入力します。

パスワードフィールドでは、英数字と数字の2種類の入力方法を使用します。パスワードを入力する際、電話機に [オプション (Options)] ソフトキーが表示されます。このソフトキーを使用して、現在のパスワードの入力タイプを変更できます。英数字で入力する場合は [すべて入力 (Input all)] を選択し、数字を入力する場合は [数字の入力 (Input num)] を選択します。

ステップ3 [保存] を押します。



(注) 管理者は、緊急コールを発信するように電話機をセットアップできます。登録済み電話機にゲストとしてサインインすると、電話機は電話機の場所を取得する要求を転送します。緊急コールを発信する際、場所が緊急サービスに送信されます。

ゲストとしての電話機からのサインアウト

手順

ステップ1 [ゲストアウト (Guest Out)] を押します。

ステップ2 [サインアウト (Sign Out)] を押します。

電話機でのプロフィール ルールの設定

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 [デバイス管理 (Device administration)] > [プロフィールルール (Profile rule)] を選択します。

ステップ 3 電話のキーパッドを使用してプロフィールルールを入力します。

ステップ 4 [再同期 (Resync)] を押します。

電話機の Web ページ

コンピュータからアクセス可能な電話機の Web ページで、いくつかの電話機設定をカスタマイズできます。このページの URL、ユーザ ID およびパスワードは管理者から与えられます。

電話機の Web ページでは、電話機の機能、回線設定、および電話サービスを制御できます。

- 電話機の機能には短縮ダイヤル、サイレント機能、個人用アドレス帳などがあります。
- 回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線設定には、不在転送、ビジュアルおよびオーディオ メッセージ インジケータ、呼出音のパターン、その他の回線固有の設定が含まれます。

電話機の Web ページを使用して設定できるいくつかの機能を次の表に示します。

機能	説明
コール転送	電話機でコール転送が有効になっている場合に、コールを受信する番号を指定します。電話機の Web ページを使用すると、より複雑なコール転送機能（回線がビジー状態の場合の動作など）をセットアップできます。
短縮ダイヤル	短縮ダイヤル番号に電話番号を割り当てると、その相手にすばやくコールをかけることができます。
呼出音	特定の回線に着信音を割り当てます。
パーソナルディレクトリの連絡先	電話機の Web ページでパーソナル ディレクトリに連絡先を追加します。

短縮ダイヤル番号

電話機で番号をダイヤルする際には、一連の数字（ディジット）を入力します。短縮ダイヤル番号を設定する際には、コールに必要なすべてのディジットを短縮ダイヤル番号に含める必要があります。たとえば、外線に接続するために9をダイヤルする必要がある場合は、9番を押してからダイヤルしたい番号を押してください。

また、ダイヤルする他のディジットを番号に追加することもできます。追加のディジットの例として、会議アクセスコード、内線、ボイスメールパスワード、承認コード、課金コードなどがあります。

ダイヤル文字列に含めることができる文字はつぎのとおりです。

- 0～9
- シャープ (#)
- アスタリスク (*)
- コンマ (,) : 一時停止記号であり、ダイヤリング中に2秒の遅延を挿入します。複数のカンマを連続させることができます。たとえば、2つのカンマ (,,) は、4秒間のポーズを表します。

ダイヤル文字列の規則は次のとおりです。

- ダイヤル文字列の各部分を分離するには、カンマを使用します。
- 短縮ダイヤル文字列では、常に課金コードの前に承認コードを含める必要があります。
- 文字列内の承認コードと課金情報コードの間に1つのコンマが必要です。
- 承認コードおよび追加のディジットを含む短縮ダイヤルには、短縮ダイヤルラベルが必要です。

短縮ダイヤルを設定する前に、ディジットを手動で少なくとも1回ダイヤルしてみて、内容が正しいことを確認してください。

短縮ダイヤルの承認コード、課金コード、および追加のディジットは、電話機の通話履歴に保存されません。短縮ダイヤルを使って宛先に接続した後に **[リダイヤル (Redial)]** を押すと、電話機に必要な承認コード、課金情報コード、または追加の数字を手動で入力するよう求められます。

例

承認コードと課金コードが必要な状況で、特定の内線の相手に電話するために短縮ダイヤル番号をセットアップするには、次の要件を考慮してください。

- 外線の **9** をダイヤルする必要があります。
- 通話先の番号は **5556543** です。

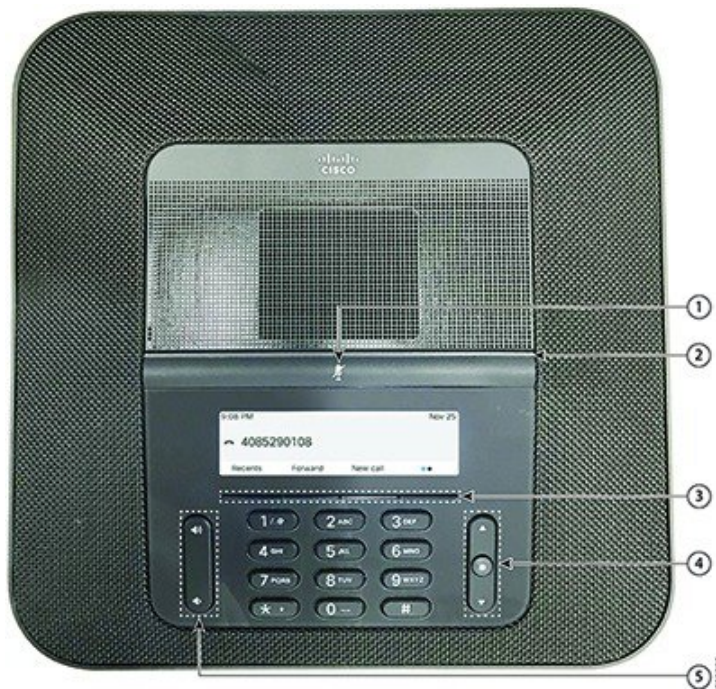
- 承認コード **1234** を入力する必要があります。
- 課金コード **9876** を入力する必要があります。
- 4 秒ほど待機します。
- 電話がつながった後、内線 **56789#** をダイヤルする必要があります。


このシナリオでは、短縮ダイヤル番号は**95556543, 1234, 9876, , 56789#** となります。




Cisco IP 会議用電話 8832 のボタンとハードウェア

次の図は Cisco IP 会議用電話 8832 です。

図 5: Cisco IP 会議用電話 8832 の各ボタンと機能

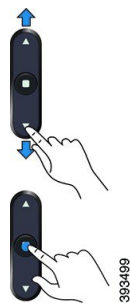


1	ミュート バー	 マイクフォンのオン/オフを切り替えます。マイクフォンをミュートにすると、LEDバーが赤く点灯します。
---	---------	--

2	LED バー	<p>コール状態を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑、点灯：アクティブ コール • 緑（点滅）：着信コール • 緑（速い点滅）：保留中のコール • 赤、点灯：ミュート中のコール
3	ソフトキー ボタン	 機能とサービスにアクセスします。
4	ナビゲーション バーと [選択 (Select)] ボタン	 <p>メニューをスクロールして項目を強調表示し、強調表示された項目を選択できます。</p> <p>アイドル状態の電話機で、[上 (Up)]を押すと最近の通話リストにアクセスでき、[下 (Down)]を押すとお気に入りリストにアクセスできます。</p>
5	[音量 (Volume)] ボタン:	 <p>スピーカーフォンの音量 (オフフック) と着信音の音量 (オンフック) を調整します。</p> <p>音量を変更するとLEDバーが白く点灯し、音量の変化を表示します。</p>

会議電話のメニュー操作

ナビゲーション バーを使用してメニューをスクロールできます。ナビゲーションバーの内側の [選択 (Select)] ボタンを使用して、メニュー項目を選択します。



メニュー項目にインデックス番号がある場合は、キーパッドでインデックス番号を入力して項目を選択できます。

会議電話のソフトキー

ソフトキーを使用して電話機の機能を操作できます。ソフトキーは画面の下にあり、ソフトキーの上の画面に表示されている機能にアクセスできます。ソフトキーは、その時点で行っている操作に応じて変化します。

●● および ●● ソフトキーは、●● ソフトキーが さらに多くのソフトキー機能が利用できることを意味することを示します。

カンファレンス電話機の画面

電話画面には、電話番号、アクティブコールのステータス、ソフトキーなど、その電話機に関する情報が表示されます。スクリーンにはヘッダー行、中央セクション、フッター行の3つのセクションがあります。



1	スクリーンの最上部にはヘッダー行があります。ヘッダー行には現在の日時と電話番号が表示されます。
2	電話画面の中央にはコールまたは回線に関連する情報が表示されます。
3	画面の最下行にはソフトキーのラベルが表示されます。各ラベルは、スクリーンの下にあるソフトキー ボタンのアクションを示しています。

電話スクリーンのクリーニング

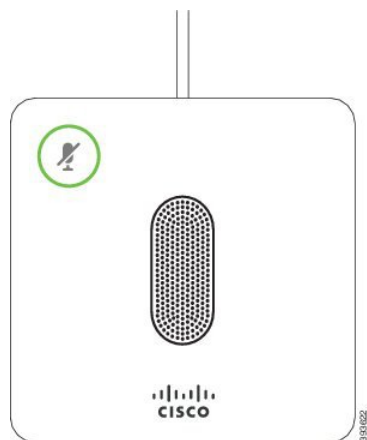
手順

電話機の画面が汚れている場合は、柔らかく乾いた布で拭いてください。

注意 電話機に対して液体や粉末を使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

有線拡張マイク

図 6: 有線拡張マイク



通話時は、[ミュート (Mute)] ボタンの周りの拡張マイク LED が緑色に点灯します。

マイク音声ミュートになっているとき、LED バーは赤色です。[ミュート (Mute)] ボタンを押すと、電話機と拡張マイクはミュートされます。

関連トピック

[有線拡張マイクの取り付け \(5 ページ\)](#)

ワイヤレス拡張マイク

Cisco IP 会議用電話 8832 は、オプションキットで充電クレードルと一緒に用意されている 2 つの拡張ワイヤレスマイクをサポートしています。ワイヤレスマイクを充電クレードルの上に配置して充電すると、クレードルの LED が白く点灯します。

図 7: ワイヤレスマイクロフォン

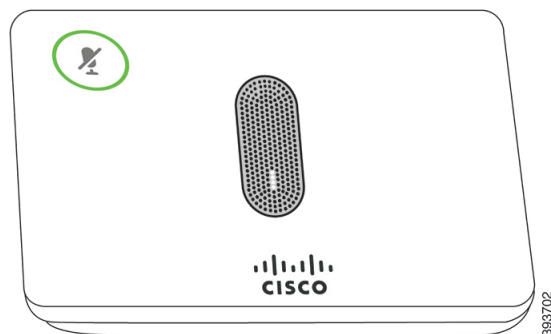
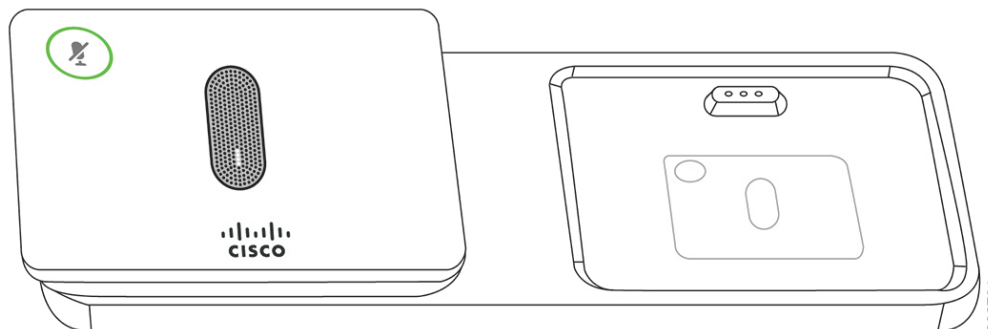


図 8: 充電クレードルに載せたワイヤレス マイク



会議電話での通話時は、[ミュート (Mute)]  ボタンの周りの拡張マイク LED が緑色に点灯します。

マイクをミュートにすると、LED が赤く点灯します。[ミュート (Mute)] ボタンを押すと、電話機と拡張マイクはミュートされます。

電話機がワイヤレスマイク (たとえばワイヤレスマイク 1) とペアリングされていて、充電器にワイヤレスマイクを接続している場合、[詳細表示 (Show detail)] ソフトキーを押すとマイクの充電レベルが表示されます。

電話機がワイヤレスマイクとペアリングされている時に有線マイクを接続すると、ワイヤレスマイクのペアリングが解除され、電話機は有線マイクとペアリングされます。有線マイクが接続されたことを示す通知が電話機の画面上に表示されます。

関連トピック

- [ワイヤレス拡張マイクの取り付け \(6 ページ\)](#)
- [ワイヤレスマイクのペアリング \(7 ページ\)](#)
- [ワイヤレスマイクのペアリングの解除 \(7 ページ\)](#)
- [ワイヤレスマイクの充電クレードルの取り付け \(8 ページ\)](#)
- [ワイヤレスマイクの充電 \(9 ページ\)](#)

省電力

管理者は、電話画面で、電話機を使用していないときに使用される電力量を減らすことができます。管理者が設定できる省エネのレベル：

- 省電力：電話機が一定時間にわたって非アクティブ状態のままだとバックライトや画面がオフになります。

電話機の電源を入れる

電話機の省エネがオフになっているときには、電話画面は空白で、[選択 (Select)] ボタンが点灯します。

手順

[選択 (Select)] を押して電話機を再度オンにします。

追加のヘルプと情報

電話機で利用可能な機能について不明な点がございましたら、管理者にお問い合わせください。

Ciscoウェブサイト (<https://www.cisco.com>) には電話機と通話制御システムに関する詳細が掲載されています。

- クイック スタート ガイドおよびエンドユーザ ガイド (英語) については、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/ip-phone-8800-series-multiplatform-firmware/products-user-guide-list.html>

- 英語以外のガイドについては、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/ip-phone-8800-series-multiplatform-firmware/tsd-products-support-translated-end-user-guides-list.html>

- ライセンス情報については、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/ip-phone-8800-series-multiplatform-firmware/products-licensing-information-listing.html>

トラブルシューティング

次のシナリオに関連した問題が発生する可能性があります:

- 電話機が通話制御システムと通信できない。
- 通話制御システムで通信または内部の問題が発生している。
- 電話機内部で問題が発生している。

問題が発生した場合は、管理者の支援のもとで問題の根本原因をトラブルシューティングすることができます。

電話機についての情報を取得する

管理者から、電話機についての情報を提供するように求められることがあります。この情報は、トラブルシューティングの目的で電話機を一意に識別します。

電話機には、すべての一意のデバイス識別子 (UDI) 情報が含まれています。UDI は、電話機に関連付けられた 3 つのデータ要素で構成されています。データ要素は次のとおりです。

- 製品ID(PID)
- バージョン ID (VID)
- シリアル番号(SN)

電話機の web インターフェイスにある[情報 (Info)] > [ステータス (Status)] > [製品情報 (Product Information)] に移動して、電話機に関する情報を検索することもできます。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 [ステータス (Status)] > [製品情報 (Product Information)] を選択します。

以下の情報を確認できます。

製品名: Cisco IP 電話を表す名前。

[シリアル番号 (Serial number)] : Cisco IP 電話 のシリアル番号です。

[MACアドレス (MAC address)] : Cisco IP 電話 のハードウェア アドレスです。

[ソフトウェアバージョン (Software version)] : Cisco IP 電話 ファームウェアのバージョン番号です。

[ハードウェアバージョン (Hardware version)] : Cisco IP 電話 ハードウェアのバージョン番号です。

VID: Cisco IP 電話のバージョン ID。

[証明書 (Certificate)] : ITSPネットワークでCisco IP 電話を使用できる事を認証するクライアント証明書のステータス。このフィールドは、クライアント証明書が電話機に正しくインストールされているかどうかを示します。

[カスタマイゼーション (Customization)] : RCユニットについて、このフィールドはユニットがカスタマイズされているかどうかを示します。[保留中 (Pending)] は、プロビジョニングの準備ができていて新しい RC ユニットを示します。ユニットがすでにカスタマイズされたプロファイルを取得している場合、このフィールドにはカスタマイズ状態が[取得済み (Acquired)] として表示されます。

ステップ 3 [アプリケーション (Applications)] 画面に戻るには、[終了 (Exit)] を押します。

電話機でカスタマイズ状態を表示

EDOS サーバからの RC のダウンロードが完了すると、画面上で電話機のカスタマイズ状態を表示できるようになります。

リモートカスタマイズ状態の説明は次のとおりです。

- [オープン (Open)] : 電話機が初めて起動し、設定されていません。

■ [ネットワークステータス (Network Status)] の表示

- [中断 (Aborted)] : リモートカスタマイズが、DHCP オプションなどの他のプロビジョニングのために中断されました。
- [待機中 (Pending)] : 電話機はプロファイルを EDOS サーバからダウンロードすることができません。
- [カスタム待機中 (Custom-Pending)] : 電話機が EDOS サーバからリダイレクト URL をダウンロードしました。
- [取得済み (Acquired)] : EDOS サーバからダウンロードされたプロファイルに、プロビジョニング設定のリダイレクト URL があります。プロビジョニングサーバからのリダイレクト URL のダウンロードが正常に完了した場合、この状態が表示されます。
- [利用不可 (Unavailable)] : EDOS サーバが空のプロビジョニングファイルで応答し、HTTP 応答が 200 OK だったため、リモートカスタマイズが停止しました。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 [ステータス (Status)] > [製品情報 (Product information)] > [カスタマイズ (Customization)] を選択します。

ステップ 3 [戻る (Back)] を押します。

[ネットワークステータス (Network Status)] の表示

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 [ステータス (Status)] > [ネットワークステータス (Network Status)] を選択します。

以下の情報を確認できます。

- [ネットワークタイプ (Network type)] : 電話機が使用するローカルエリア ネットワーク (LAN) 接続のタイプを示します。
- [ネットワークステータス (Network status)] : 電話機がネットワークに接続されているかどうかを示します。
- **IPv4 ステータス** - 電話機の IP アドレス。電話機の IP アドレス、アドレッシングタイプ、IP ステータス、サブネットマスク、デフォルトルータ、ドメインネームサーバ (DNS) 1、DNS 2 に関する情報を確認できます。
- **IPv6 ステータス** - 電話機の IP アドレス。電話機の IP アドレス、アドレッシングタイプ、IP ステータス、サブネットマスク、デフォルトルータ、ドメインネームサーバ (DNS) 1、DNS 2 に関する情報を確認できます。

- **VLAN ID** - 電話機のVLAN ID。
- **[MACアドレス (MAC address)]** : 電話機固有のメディアアクセスコントロール (MAC) アドレス。
- **[ホスト名 (Host name)]** : 電話機に割り当てられた現在のホスト名が表示されます。
- **ドメイン**- 電話機のネットワークドメイン名を表示します。デフォルト : `cisco.com`
- **[スイッチポートリンク (Switch port link)]** : スイッチ ポートのステータス。
- **[スイッチポート設定 (Switch port config)]** : ネットワーク ポートの速度とデュプレックスを示します。

電話機のステータスを表示

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 [ステータス (Status)] > [電話ステータス (Phone Status)] > [電話ステータス (Phone Status)] を選択します。

以下の情報を確認できます。

- **[経過時間 (Elapsed time)]** : システムを前回再起動してから経過した時間の合計。
- **[Tx (パケット) (Tx (Packets))]** : 電話機から送信されたパケット。
- **[Rx (パケット) (Rx (Packets))]** : 電話機で受信されたパケット。

電話機でステータス メッセージを表示

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 [ステータス (Status)] > [ステータスメッセージ (Status messages)] を選択します。

プロビジョニングが最後に実行されてからの、さまざまな電話ステータスのログを表示できます。

(注) ステータスメッセージは UTC 時間を反映し、電話機のタイムゾーン設定の影響を受けません。

ステップ3 [戻る (Back)]を押します。

回線ステータスの表示

手順

ステップ1 [設定 (Settings)]を押します。

ステップ2 [ステータス (Status)]> [電話ステータス (Phone status)]> [回線ステータス (Line status)]
を選択します。

電話機の各回線のステータスを表示できます。

802.1X トランザクションステータスの表示

手順

ステップ1 [設定 (Settings)]を押します。

ステップ2 [ネットワークの設定 (Network configuration)]> [イーサネットの設定 (Ethernet configuration)]> [802.1X 認証 (802.1X authentication)]> [トランザクションステータス (Transaction status)]
を選択します。

以下の情報を確認できます。

- トランザクションステータス (Transaction status)
 - Protocol (プロトコル)
-

リポート履歴を表示

手順

ステップ1 [設定 (Settings)]を押します。

ステップ2 [ステータス (Status)]> [再起動履歴 (Reboot history)]を選択します。

電話機が再起動したときに、その理由を問わず、いつでも日時の詳細を表示できます。

電話機のすべての問題を報告する

エラー レポート ツール (PRT) を使用すると、通話記録を収集および送信し、管理者に問題を報告することができます。

手順

- ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。
- ステップ 2 [ステータス (Status)] > [問題を報告 (Report problem)] を選択します。
- ステップ 3 [問題の発生日付 (Date of problem)] フィールドに、問題が発生した日付を入力します。デフォルトではこのフィールドに現在の日時が表示されます。
- ステップ 4 [問題の発生時刻 (Time of problem)] フィールドに、問題が発生した時刻を入力します。デフォルトではこのフィールドに現在の時刻が表示されます。
- ステップ 5 [問題の説明 (Problem description)] を選択します。
- ステップ 6 表示されるリストから説明を選択します。
- ステップ 7 [送信] を押します。

電話機の Web ページで URL を使用して電話機の問題を特定する

電話機が機能しない場合や登録されていない場合、ネットワークエラーまたは不良構成が原因である可能性があります。原因を特定するには、特定の IP アドレスまたはドメイン名を電話機の管理ページに追加します。追加後にアクセスし、電話機から宛先に ping して原因を確認することができます。

手順

サポートされている Web ブラウザで、電話機の IP アドレスと ping する宛先 IP で構成される URL を入力します。URL は、次の形式で入力してください。

`http://<Phone IP>/admin/ping?<ping destination>`。ここでの定義は次のとおりです。

`<Phone IP>` = 電話機の実際の IP アドレスです。

`/admin` = 電話機の管理ページにアクセスするためのパスです。

`<ping destination>` = ping する IP アドレスまたはドメイン名です。

ping の宛先に使用できるのは、英数字、「-」および「_」（下線）のみです。それ以外を使用すると、電話機の Web ページにエラーが表示されます。`<ping destination>` にスペースが含まれている場合、電話機はアドレスの最初の部分のみを ping の宛先として使用します。

たとえば、192.168.1.1 のアドレスに ping する場合、次のようになります。

`http://<Phone IP>/admin/ping?192.168.1.1`

電話機の接続の切断

電話機が電話のネットワークと接続していない場合があります。この接続が失われると、電話機にメッセージが表示されます。

アクティブコール中に接続が失われた場合、その通話は継続します。ただし、一部の電話機の機能は通話制御システムからの情報を必要とするため、通常の全ての機能にアクセスできるわけではありません。たとえば、想定どおりにソフトキーが機能しないことがあります。

電話機が通話制御システムに再接続すると、電話機を再び通常どおりに使用できるようになります。

電話機にプロビジョニングの障害メッセージが表示されたときに詳細情報を取得する

電話機にメッセージが表示された場合は、プロビジョニング設定を確認するか、サービス プロバイダーに連絡してください。、設定に問題があります。このメッセージは、電話機が起動した直後にしか表示されません。電話機がコールサーバに登録されていても、このメッセージは表示されません。

このメッセージは、すべての MPP 電話機に適用されます。

手順

ステップ 1 次のオプションのいずれかを選びます。

- **詳細 (Details):** ステータス メッセージのリストを表示します。
- **[キャンセル (Cancel)]:** メインの電話画面に戻ります。

(注) プロビジョニングアラートをキャンセルした場合、電話機が再起動されるまで、電話機は別のプロビジョニング アラートを表示しません。

ステップ 2 該当するステータスメッセージをリストから選択し、次のオプションのいずれかを押します。

- **詳細 (Details):** ステータス メッセージ全体を表示します。
- **クリア (Clear):** メッセージの完全なリストを削除します。

ステップ 3 この問題を解決するには、管理者にお問い合わせください。管理者によってアクセスが許可されている場合は、電話機の web ページでもメッセージを表示できます。

電話機の web ページで、**[情報 > ダウンロード ステータス > プロビジョニング ステータス]** に移動します。

シスコ製品（ハードウェア）に関する1年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証を含む正式な保証書は、Cisco.comの次のURLで提供されています。<https://www.cisco.com/go/hwwarranty>



第 2 章

通話

- コールの発信 (27 ページ)
- コールへの応答 (30 ページ)
- コールのミュート (32 ページ)
- コールの保留 (32 ページ)
- コールの転送 (33 ページ)
- 通話の転送 (34 ページ)
- 電話会議とミーティング (35 ページ)
- 通話の録音 (35 ページ)
- インスタントメッセージおよびプレゼンスの連絡先 (36 ページ)
- 電話機のグループのページング (マルチキャストページング) (37 ページ)
- コールセンター機能 (38 ページ)

コールの発信

電話機は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話を発信できます。

電話をかける

この電話機では、他の電話機と同じようにコールを発信できます。

手順

電話番号を入力して、**[通話 (Call)]** を押します。

緊急コールの発信

他のコールと同じように電話機を使用して緊急コールを発信します。緊急番号にダイヤルすると、ユーザをサポートするために緊急サービスによって電話番号と場所が取得されます。



(注) コールが切断されると、緊急サービスからユーザに電話をかけなおすことができます。

始める前に

物理的な場所を取得するように電話機をセットアップする必要があります。緊急サービス担当者は、緊急コールを発信する際にユーザがいる場所を知っている必要があります。

手順

緊急番号を入力して、[コール (Call)] を押します。

番号のリダイヤル

最後にダイヤルした電話番号をもう一度発信できます。

手順

ステップ 1 [リダイヤル (Redial)] を押します。

デフォルトでは、[リダイヤル (Redial)] ソフトキーが電話機の画面に表示されません。設定するには、管理者に連絡してください。

ステップ 2 [発呼 (Placed calls)] リストから通話記録を選択して、連絡先を選択し、[コール (call)] を選択します。

また、[情報および設定] > [通話履歴 (Recents)] > [発呼 (Placed calls)] から [発呼 (Placed calls)] リストにアクセスすることもできます。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤルでは、ボタンを押し、事前に設定したコードを入力するかまたは電話機の画面項目を選択すると発信できます。短縮ダイヤルは電話画面と、電話機の Web ページから設定できます。

短縮ダイヤル コードを編集、削除、および承認できます。

電話機の画面から短縮ダイヤル コードを割り当てる

電話画面から短縮ダイヤルのインデックスを設定できます。また、電話機の Web ページから短縮ダイヤル コードを割り当てることもできます。

手順

ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ2 [短縮ダイヤル (Speed Dials)] を選択します。

ステップ3 割り当てられていない短縮ダイヤルのインデックスまでスクロールします。

ステップ4 [編集 (Edit)] を押して、次のいずれかを実行します：

- 名前と番号を入力します。
- [オプション (Option)] > [連絡先から追加 (Add from contacts)] を選択してアドレス帳から連絡先を選択します。

ステップ5 [保存] を押します。

短縮ダイヤルコードを使用して発信

始める前に

電話機のウェブページまたは電話機の画面から、短縮ダイヤルコードをセットアップします。

手順

短縮ダイヤルコードを入力し、[コール (Call)] を押します。

国際番号のダイヤル

電話番号の前にプラス記号 (+) を付けると、国際電話をダイヤルできます。

手順

ステップ1 アスタリスク (*) を1秒間以上押したままにします。

電話番号の先頭にプラス (+) 記号が表示されます。

ステップ2 電話番号を入力します。

ステップ3 [通話 (Call)] を押す、または最後にキーを押した後に10秒待つ事で自動的に通話を挿入します。

安全なコール

社外の人物による不正な改ざんからコールを保護するために、管理者は措置を講じることができます。通話中にロックアイコンが表示されている場合、通話は安全です。電話機の設定によっては、発信する前またはハンドセットからセキュリティトーンが流れる前にサインオンする必要があります。

コールへの応答

Cisco IP 電話は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話に応答できます。

コールに応答する

手順

[応答 (Answer)] を押します。

会議電話でコール ウェイティングへ応答する

アクティブコール中に別のコールがあると、ビープ音が1回鳴り、会議電話の画面にメッセージが表示されます。

手順

[応答 (Answer)] を押します。

コールの拒否

呼び出し中の着信コールを、ボイスメールシステム（設定されている場合）または設定済み電話番号に送信できます。設定されていないと、コールは拒否され、発信者にはビジー トーンが再生されます。

着信通話を無音にする

忙しく仕事が中断されたくない場合には、着信通話をサイレント状態にすることができます。電話は鳴らなくなりますが、視覚的なアラートが表示されて着信通話に応答することができます。

始める前に

管理者は、あなたの電話機の[無視 (Ignore)] ソフトキーを設定します。

手順

いずれかの方法で、着信通話をサイレント状態にします。

- [無視 (Ignore)] ソフトキーを押します。このソフトキーを押すと、ソフトキーは電話機の画面から消え、次の着信通話で再び表示されます。



- 音量 ボタンを下に押します。このボタンを再度押すと、着信音の音量が下がります。


次の着信通話時にリンガの音量が元に戻ります。

応答不可をオンにする

電話に出たくない場合は、サイレント (DND) を使用して電話機をサイレントにし、着信コール通知を無視します。ただし、DND がオンになっていてもページングコールと緊急通話は常に受信します。

DND を有効にすると、着信コールがボイスメールなどの別の番号 (セットアップされている場合) に転送されます。

DND がオンの場合、電話画面の上部のバーに [応答不可 (Do not disturb)] と表示されます。

ラインキーで機能キーの同期と DND が有効になっている場合、DND アイコン  はラインキーラベルの横に表示されます。

始める前に

管理者は電話機の **DND/Clr DND** ソフトキーを有効にします。

手順

ステップ 1 サイレントをオンにするには、[サイレント (DND)] を押します。

もし **DND** ソフトキーが電話画面にグレー表示されている場合は、管理者に連絡してください。

ステップ 2 DND をオフにするには、[DND の無効化 (Clr DND)] を押します。

スターコードを使用してDNDをオンまたはオフにします

電話機用に設定されたそれぞれのスターコードをダイヤルすることによって、妨害防止機能をオンまたはオフにすることができます。管理者は、電話機の Web ページの [DND有効化コード (DND Act Code)] フィールドと [DND無効化コード (DND Deact Code)] フィールドにそれぞれスターコードを入力します。

手順

ステップ 1 DNDをオンにするには、管理者から提供されたスターコードをダイヤルします。

ステップ 2 DNDをオフにするには、管理者に提供されたスターコードをダイヤルします。

コールのミュート

コール中に音声をミュートすると、自分の声が相手に聞こえず、相手の声だけを聞くことができます。

手順

ステップ 1 電話機の [ミュート (Mute)]  を押すか、拡張マイクの [ミュート (Mute)]  を押します。

ステップ 2 再度 [ミュート (Mute)] を押すと、ミュートはオフになります。

コールの保留

コールを保留にする

アクティブ コールを保留にして、いつでも再開できます。

手順

ステップ 1 [保留 (Hold)] ボタンを押す。

ステップ 2 保留中の通話を再開するには、[再開 (Resume)] を押します。

長時間にわたって保留されているコールに応答する


電話機は、長時間コールを保留している場合に知らせるキューを提供するように設定されています。

- 点滅するLEDバー
- 電話スクリーン上のビジュアル通知
- 保留リマインダが電話機の Web ページで設定されている場合の電話機での着信通知

手順


保留中の通話を再開するには[応答 (Answer)]を押します。

コールの転送

機能キー同期および通話転送が設定された回線が有効な場合、通話転送  アイコンは回線キーラベルの隣に表示されます。

コールを転送するには、次の 2 つの方法があります。

- すべてのコールを転送する
- 電話機がビジー状態の場合、または応答がない場合など、特殊な状況でコールを転送する

コールが転送されることを確認するには、回線ラベルや電話画面の中央で通話転送  アイコンを探します。

始める前に

管理者はあなたの電話機の [すべてを転送 (Forward all)] または [すべての転送を消去 (Clear fwd all)] ソフトキーを有効にします。

手順

ステップ 1 [転送 (Forward)] を押します。

ステップ 2 次のいずれかを行います: 自分の電話機からダイヤルするのとまったく同じ方法で転送先番号を入力するか、最近の通話または連絡先の履歴からエントリを選択します。

- この電話回線から着信コールを転送する、転送先番号を入力します。
- [連絡先 (Contacts)] ソフトキーを押して、連絡先ディレクトリから連絡先を選択します。
- [通話履歴 (Recents)] を押して、通話履歴からエントリを選択します。

ステップ3 [コール (Call)] を押して、すべてのコールを指定された番号に転送します。

通話の転送

アクティブ コールを別の人に転送することができます。

別の担当者にコールを転送する

コールを転送した場合、他の担当者が応答するまでは、元のコールに接続した状態を保つことができます。これにより、通話から自分を切断する前に、相手と個人的に話す機会ができます。話す必要がない場合は、他の担当者が応答する前に通話を転送します。

また、通話から自分を切断する前に、両方の通話者の間で切り替えて、両者とそれぞれ個別に話し合うこともできます。

手順

ステップ1 保留中ではないコールで、[転送 (Transfer)] を押します。

ステップ2 別の担当者の電話番号を入力して、[コール (Call)] を押します。

ステップ3 (任意) 着信音が鳴るか、相手がコールに応答するまで待ちます。

ステップ4 再度 [転送 (Transfer)] を押します。

転送を行う前の会話

コールを転送する前に、転送先の相手と会話することができます。

始める前に

アクティブ コールを転送しなければならない場合があります。

手順

ステップ1 [転送 (Transfer)] を押します。

ステップ2 相手が応答すると、相手と話すことができます。

ステップ3 再度 [転送 (Transfer)] を押します。

電話会議とミーティング

1つのコールで複数の相手と話し合うことができます。別のユーザにダイヤルして、そのユーザをコールに追加することができます。参加者全員が電話を切ると、会議は終了します。

他の人をコールに追加する

手順

-
- ステップ 1** アクティブ コールから、[会議 (Conference)] を押します。
 - ステップ 2** 追加する通話相手の電話番号を入力し、[コール (Call)] を押します。
 - ステップ 3** もう一度 [会議 (Conference)] を押します。
-

通話の録音

通話中に録音することが可能です。コールの録音時に、通知トーンが聞こえることがあります。

録音中、[コール (Calls)] 画面にさまざまな録音アイコンが表示されます。アイコンは録音状態によって異なります。

表 1: 録音アイコン

アイコン	意味
	録音中
	記録一時停止

始める前に

管理者は、電話機でのコールの録音を有効にします。

手順

-
- ステップ 1** アクティブ コール中に [録音 (Record)] を押します。
 - ステップ 2** (任意) 録音中に [録音の一時停止 (PauseRec)] を押すと、録音を一時停止できます。
 - ステップ 3** (任意) 録音を再開するには、[録音の再開 (ResumeRec)] を押します。
 - ステップ 4** (任意) 録音を停止するには、[録音の停止 (StopRec)] を押します。

ステップ5 コールを終了するには、[通話終了 (End Call)] を押します。

インスタントメッセージおよびプレゼンスの連絡先

インスタントメッセージおよびプレゼンス (IM&P) の連絡先には、それらのプレゼンス情報が表示されます。ユーザが利用可能、ビジー、利用不可能、または応答不可かどうかを確認できます。

連絡先のリストを管理するには、UC-One Communicator を使用します。電話機は、UC-One Communicator サーバから連絡先のリストを取得します。

電話機を使用すると、電話機は UC-One Communicator にステータス情報を送信します。

プレゼンス

会社で「UC-One Communicator」サービスを使用し、電話機とこのサービスを統合することができます。このサービスを使用すると、連絡先のステータスを表示できます。

自分のステータスは電話機のステータス行に表示されます。次のいずれかが表示されます。

- 応答可能 (Available)
- 不在
- 取り込み中
- オフライン

「UC-One Communicator」サービスの詳細については、Broadsoft のドキュメントを参照してください。

IM およびプレゼンスの連絡先に対するコールの発信

IM&P の連絡先に含まれる相手にコールを発信する場合、相手のプレゼンス状態が通話履歴に表示されます。

手順

ステップ1 [連絡先] を押します。

ステップ2 [IM&P] を選択します。

ステップ3 ディレクトリを選択します

ステップ4 エントリを選択します。

エントリに連絡先のステータスが表示されます。

ステップ5 (任意) 連絡先の詳細を表示するには [詳細 (Detail)] を押し、連絡先リストに戻るには [戻る (Back)] を押します。

ステップ6 [通話] を押します。

プレゼンス状態の変更

電話機は常に利用可能なため、電話機でプレゼンスを手動設定する必要があります。

手順

ステップ1 [連絡先] を押します。

ステップ2 [プレゼンス (Presence)] を押します。

ステップ3 リストからプレゼンスを選択します。

- [利用可能 (Available)] : 電話に出ることができます。
- [退席中 (Away)] : 短時間、電話機から離れています。
- [応答不可 (Do not disturb)] : 電話に出ません。
- [オフライン (Offline)] : 電話に出ることができません。通常、長時間電話機から離れるときにこのプレゼンスを使用します。

電話機のグループのページング (マルチキャストページング)

管理者は、電話機をページンググループの一部として設定できます。ページンググループ内では、お使いの電話機は、電話機システムの他のマルチプラットフォーム電話機からのページングに自動的に応答できます。各ページンググループには、それに関連付けられた固有の番号があります。管理者は、設定されたページンググループ番号を提供します。電話機がページングされると、短いビープ音が3回鳴ります。電話機が、あなたとあなたにコールした電話機の間で片通話を確立します。ページを承認する必要はありません。

手順

ページンググループの番号をダイヤルします。

コールセンター機能

管理者は、ご使用の電話機をコールセンターの電話機として設定します。

コールセンターエージェントとしてのサインイン

コールセンターエージェントとしての業務を開始する準備ができれば、電話機にサインインしてステータスを設定します。

手順

-
- ステップ1 [Agtサインイン (AgtSgnIn)] を押します。
 - ステップ2 [Agtステータス (Agt status)] を押します。
 - ステップ3 [利用可能 (Available)] ステータスを強調表示します。
 - ステップ4 [選択 (Select)] を押します。
-

コールセンターエージェントとしてのサインアウト

コールセンターエージェントとしての業務を終了する準備ができれば、ステータスを変更して電話機からサインアウトします。サインアウトすると、コールセンター コールを受信しません。

通話中にその通話が終了したらすぐにサインオフすることがわかっている場合、ステータスを [ラップアップ (Wrap-up)] に変更できます。

手順

-
- [Agtサインアウト (AgtSgnOut)] を押します。
-

コールセンターエージェントとしてのステータス変更

往々にして、短い休憩が必要な場合があります。そのためには、ステータスを変更して、その通話により電話機の呼出音が鳴らないようにします。

手順

-
- ステップ1 [Agtステータス (Agt status)] を押します。

- ステップ2 [利用不可 (Unavailable)] ステータスを強調表示します。
- ステップ3 [選択 (Select)] を押します。
- ステップ4 [Agtステータス (Agt status)] を押します。
- ステップ5 [利用可能 (Available)] ステータスを強調表示します。
- ステップ6 [選択 (Select)] を押します。
- ステップ7 [ラップアップ (Wrap-up)] ステータスを強調表示します。
- ステップ8 [選択 (Select)] を押します。

コールセンターコールの受信

コールセンターエージェントとして電話機にサインインして、電話機のステータスが利用可能に設定されている場合、電話機はコールセンターコールを受信できます。コールに応答する前に、コールに関する情報が表示されます。

手順

- ステップ1 通話を受信すると、通話の情報ページが表示されます。終了するには[戻る (Back)] を押し、受信するには [応答 (Answer)] を押します。
- ステップ2 コールの詳細を表示するには、[コール情報 (Call Info)] を押します。
- ステップ3 通話を終了するときには、[通話終了 (End call)] を押します。

エージェントコールの保留

コールセンターコール中に、発信者を保留したりコールに戻ったりすることができます。コールを長時間保留すると、電話画面でリマインダ音やリング スプラッシュが鳴ります。

手順

- ステップ1 [保留 (Hold)] ボタンを押す。
- ステップ2 戻る準備ができたなら、保留中のコールを選択して [再開 (Resume)] を押します。

コールセンターコール中の処置コードの設定

廃棄コードをアクティブな顧客の通話、または通話の後で状態を [ラップアップ (Wrap-up)] に設定した後に割り当てる事ができます。廃棄コードは、通話を説明する通話レコードに適

用される簡易ラベルです。これは、コールにラベルを付けて、コールに関する詳細を見落とさないよう顧客への連絡履歴を追跡する簡単な方法です。

始める前に

管理者は、電話機に処置コードを追加できます。

手順

ステップ1 [廃棄コード (Disp Code)] を押す。

ステップ2 [OK] を押します。

コールのトレース

アクティブコールとエージェントステータスで最後の着信コールをトレースできます。

始める前に

管理者は、電話機でコールのトレースを有効にします。

手順

アクティブコールから、またはコール後に [トレース (Trace)] を押します。

スーパバイザへのコールのエスカレーション

コールのエスカレーションが必要な場合、ユーザや発信者とともにスーパバイザを電話会議に追加できます。

始める前に

管理者が電話機で緊急エスカレーションを有効にします。

手順

ステップ1 アクティブコールから、[緊急 (Emergency)] を押します。

ステップ2 [緊急エスカレーション (Emergency Escalation)] ウィンドウで、[OK] をクリックします。

優先する緊急エスカレーション番号を入力できます。または、スーパーバイザ設定がない場合は空のままにすることができます。緊急エスカレーション番号は表示されません。



第 3 章

コンタクト

- 複数のディレクトリで連絡先を検索する (43 ページ)
- 社内ディレクトリ(Corporate Directory) (44 ページ)
- 個人用アドレス帳 (48 ページ)
- 着信コールおよび発信コールの名前の逆引きルックアップ (50 ページ)

複数のディレクトリで連絡先を検索する

同時に複数のディレクトリで連絡先を検索することができます。Broadsoftディレクトリが設定されている場合、次の場所の連絡先が検索されます。

- Broadsoft の全ディレクトリ
 - エンタープライズディレクトリ
 - グループディレクトリ (エンタープライズディレクトリに含まれる)
 - エンタープライズ共通ディレクトリ
 - グループ共通ディレクトリ
 - 個人ディレクトリ
- LDAP ディレクトリ (設定されている場合)
- ユーザの個人アドレス帳

検索結果から、連絡先の詳細を表示したり、連絡先を個人アドレス帳に追加したり、連絡先に電話をかけることができます。コールする前に番号を編集することもできます。

手順

- ステップ 1 [連絡先 (Contacts)] ボタン を押します。
- ステップ 2 [すべて選択 (All)] を選択します。
- ステップ 3 検索する連絡先の名前を入力します。

名前の任意の箇所に検索文字列を含む姓または名が検索されます。

ステップ 4 **[検索 (Search)]** を押します。

検索結果には、名前の完全一致と部分一致の両方が表示されます。

ステップ 5 (任意) 連絡先の詳細を表示するには、検索結果内の連絡先を強調表示し、**[詳細 (Details)]** を押します。

ステップ 6 (任意) 電話の個人アドレス帳に連絡先を追加するには、次の手順を実行します。

a) 連絡先の詳細を表示しながら、**[オプション (Option)]** を押します。

b) **[連絡先の追加 (Add Contact)]** を選択します。

c) 連絡先の詳細を入力し、**[保存 (Save)]** を押します。

ステップ 7 (任意) 連絡先に電話をかけるには、検索結果の連絡先を強調表示し、**[コール (Call)]** を押します。

ステップ 8 (任意) ダイヤルする番号を変更してから連絡先に電話をかけるには、次の手順に従います。

a) 検索結果の連絡先を強調表示し、**[通話の編集 (Edit call)]** を押します。

b) 必要に応じて番号を編集します。

c) **[通話]** を押します。

社内ディレクトリ(Corporate Directory)

電話機で同僚の番号を検索して簡単に電話をかけることができます。管理者がこのディレクトリを設定し、保守します。

お使いの電話機は、LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) ディレクトリ、Broadsoft Directory、および Cisco XML Directory の 3 種類の企業ディレクトリをサポートしています。

社内ディレクトリの連絡先のダイヤル

手順

ステップ 1 **[連絡先]** を押します。

ステップ 2 定義したディレクトリ名を選択します。

ステップ 3 検索条件を選択します。

ステップ 4 検索条件を入力し、**[送信 (Submit)]** を押します。

ステップ 5 連絡先を選択して、**[コール (Call)]** を押します。

Broadsoft ディレクトリ

Broadsoftディレクトリ内で個人、グループ、または企業の連絡先を検索したり表示したりできるため、簡単に電話をかけることができます。管理者がお使いの電話機にBroadsoftディレクトリを設定します。このアプリケーション機能は、BroadSoft の Extended Services Interface (XSI) を使用します。

Broadsoft ディレクトリにて連絡先を検索

始める前に

電話機の管理者 Web ページで管理者が **[ディレクトリの種類 (Directory Type)]** を **[企業 (Enterprise)]**、**[グループ (Group)]**、または **[個人 (Personal)]** に設定します。

手順

ステップ 1 **[連絡先]** を押します。

ステップ 2 **[Broadsoft ディレクトリ (BroadSoft directory)]** を選択する。

ステップ 3 検索条件を選択します。

- BroadSoft の企業ディレクトリまたはグループディレクトリでは、姓、名、ユーザ ID、電話番号、内線、部署、またはメールアドレスによって連絡先を検索できます。
- Broadsoft 個人ディレクトリでは、連絡先を名前または番号によって検索できます。

ステップ 4 検索条件を入力し、**[送信 (Submit)]** を押します。

Broadsoft ディレクトリの連絡先タイプの編集

手順

ステップ 1 **[連絡先]** を押します。

ステップ 2 **[Broadsoft ディレクトリ (Broadsoft directory)]** を選択します。

ステップ 3 **[オプション (Option)]** を押します。

ステップ 4 **[設定の編集 (Edit Settings)]** を選択します。

ステップ 5 **[タイプ (Type)]** フィールドを選択します。

Broadsoftディレクトリの連絡先タイプとして企業、グループ、または個人を選択できます。

ステップ 6 **[保存 (Save)]** を押して、変更内容を適用します。

BroadSoft ディレクトリ名の編集

手順

-
- ステップ 1 [連絡先] を押します。
 - ステップ 2 [Broadsoft ディレクトリ (Broadsoft directory)] を選択します。
 - ステップ 3 [オプション (Option)] を押します。
 - ステップ 4 [設定を編集 (Edit Settings)] を選択します。
 - ステップ 5 [ディレクトリ名 (Directory Name)] フィールドを編集します。
 - ステップ 6 [保存 (Save)] を押して、変更内容を適用します。
-

Broadsoft ディレクトリのサーバ名の編集

手順

-
- ステップ 1 [連絡先] を押します。
 - ステップ 2 [Broadsoft ディレクトリ (Broadsoft directory)] を選択します。
 - ステップ 3 [オプション (Option)] を押します。
 - ステップ 4 [設定を編集 (Edit Settings)] を選択します。
 - ステップ 5 [ホストサーバー (Host Server)] を選択します。
 - ステップ 6 [編集 (Edit)] を押して、サーバーエントリを変更します。
 - ステップ 7 [ホストサーバー (Host Server)] フィールドを編集します。
 - ステップ 8 [保存 (Save)] を押して、変更内容を適用します。
-

Broadsoft ディレクトリのユーザ ID の編集

手順

-
- ステップ 1 [連絡先] を押します。
 - ステップ 2 [Broadsoft ディレクトリ (Broadsoft directory)] を選択します。
 - ステップ 3 [オプション (Option)] を押します。
 - ステップ 4 [設定を編集 (Edit Settings)] を選択します。
 - ステップ 5 [ユーザーID (UserID)] を選択します。
 - ステップ 6 [編集 (Edit)] を押してBroadsoftディレクトリのユーザIDを編集する。
 - ステップ 7 [適用 (Apply)] を押して、変更内容を保存します。

ステップ8 [ユーザーID (User ID)] フィールドを編集します。

ステップ9 [保存 (Save)] を押して、変更内容を適用します。

BroadSoft ディレクトリのパスワードを編集

手順

ステップ1 [連絡先] を押します。

ステップ2 [Broadsoft ディレクトリ (Broadsoft directory)] を選択します。

ステップ3 [オプション (Option)] を押します。

ステップ4 [設定を編集 (Edit Settings)] を選択します。

ステップ5 [パスワード (Password)] を選択します。

ステップ6 [編集 (Edit)] を押して、エントリを変更します。

ステップ7 [適用 (Apply)] を押して、変更内容を保存します。

ステップ8 [パスワード (Password)] フィールドを編集します。

ステップ9 [保存 (Save)] を押して、変更内容を適用します。

LDAP ディレクトリ

Cisco IP 電話はLightweightディレクトリアクセスプロトコル (LDAP) v3 に対応しています。名前、電話番号、またはその両方の指定されたLDAPディレクトリを検索できます。Microsoft Active Directory 2003 やOpenLDAP ベースのデータベースなどの、LDAP ベースのディレクトリがサポートされています。

LDAPディレクトリにて連絡先を検索

手順

ステップ1 [連絡先] を押します。

ステップ2 [LDAP ディレクトリ (LDAP Directory)] を選択する。

ステップ3 検索条件を入力します。
連絡先の名前と名字を使って検索できます。

ステップ4 [送信] を押します。

個人用アドレス帳

個人用アドレス帳に新しい連絡先を追加

手順

-
- ステップ1 [連絡先] を押します。
 - ステップ2 [個人アドレス帳 (Personal address book)] を選択する。
 - ステップ3 [ツイカ (Add)] を押します。
 - ステップ4 姓、名、および番号を入力します。
 - ステップ5 名前と1つ以上の電話番号を入力します。
 - ステップ6 連絡先のカスタム着信音を選択します。
 - ステップ7 [保存 (Save)] を押して、パーソナルディレクトリにエントリを追加します。
-

電話機の Web ページによる個人用アドレス帳への新規連絡先の追加

手順

-
- ステップ1 電話機の Web ページで、[ユーザログイン (User Login)] > [パーソナルディレクトリ (Personal Directory)] を選択します。
 - ステップ2 [パーソナルディレクトリに追加 (Add to Personal Directory)] をクリックします。
 - ステップ3 姓、名、および番号を追加します。
 - ステップ4 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
-

個人用アドレス帳での連絡先の検索

手順

-
- ステップ1 [連絡先] を押します。
 - ステップ2 [個人アドレス帳 (Personal address book)] を選択する。
 - ステップ3 [オプション (Option)] > [検索 (Search)] を選択します。
 - ステップ4 検索するアドレスエントリを入力し、[送信 (Submit)] を押します。

名前でのみ検索できます（大文字と小文字は区別されません）。番号による検索には対応していません。

個人用アドレス帳の連絡先へのコール

手順

- ステップ1 [連絡先] を押します。
 - ステップ2 [個人アドレス帳 (Personal address book)] を選択し、エントリーを検索します。
 - ステップ3 ダイヤルする個人アドレス帳のエントリーを選択します。
 - ステップ4 [通話] を押します。
-

個人用アドレス帳の連絡先の編集

手順

- ステップ1 [連絡先] を押します。
 - ステップ2 [個人アドレス帳 (Personal address book)] を選択し、エントリーを検索します。
 - ステップ3 変更するエントリーを選択します。
 - ステップ4 [編集 (Edit)] を押します。
 - ステップ5 エントリーの情報を変更します。
 - ステップ6 [保存 (Save)] を押して、電話番号を変更します。
-

個人用アドレス帳から連絡先を削除する

手順

- ステップ1 [連絡先] を押します。
 - ステップ2 [個人アドレス帳 (Personal address book)] を選択する。
 - ステップ3 アドレスエントリーを選択し、[オプション (Option)] > [削除 (Delete)] を押してエントリーを削除します。
-

着信コールおよび発信コールの名前の逆引きルックアップ

着信コール、発信コール、電話会議、コール転送で、番号の名前を逆引きルックアップします。電話機がサービスプロバイダーディレクトリ、通話履歴、または連絡先を使用して名前を検索できない場合、名前の逆引きルックアップが機能します。名前の逆引きルックアップには、有効な LDAP ディレクトリ設定または XML ディレクトリ設定が必要です。

名前の逆引きルックアップでは、電話機の外部ディレクトリを検索します。検索が成功すると、コールセッションと通話履歴に名前が表示されます。同時に複数のコールがある場合、名前の逆引きルックアップでは1つ目の電話番号と一致する名前が検索されます。2つ目のコールが接続または保留されたとき、名前の逆引きルックアップでは2つ目のコールに一致する名前が検索されます。

名前の逆引きルックアップは、デフォルトで有効になっています。

名前の逆引きルックアップでは、次の順序でディレクトリが検索されます。

1. 電話連絡先
2. コール履歴
3. LDAP ディレクトリ
4. XML ディレクトリ



第 4 章

通話履歴

- [最近の通話リスト \(51 ページ\)](#)
- [最近の通話履歴を表示する \(51 ページ\)](#)
- [BroadWorks XSIサーバからの通話履歴を表示 \(52 ページ\)](#)
- [最近の通話履歴に戻る \(53 ページ\)](#)
- [最近の通話履歴を消去する \(53 ページ\)](#)
- [通話履歴レコードからの連絡先の作成 \(53 ページ\)](#)
- [コールレコードの削除 \(54 ページ\)](#)
- [全ての通話履歴を削除 \(54 ページ\)](#)

最近の通話リスト

履歴リストを使用すると、最近の 180 件の個別コールおよびコールグループを確認できます。履歴リストが最大サイズに到達すると、次の新しいエントリによりリスト内の最も古いエントリが上書きされます。

最近の通話履歴を表示する

最近誰からコールがあったかを確認できます。



(注) 各回線には不在着信バッジがあります。電話機の画面で、回線ごとの不在着信件数を表示できます。最大不在着信のバッジは99です。特定の回線の [電話] 画面で [すべての通話] または [不在通話] リストを表示すると、選択した回線の不在通話バッジが消去されます。

履歴リストに表示されるコールは 180 件までに制限されているため、不在着信バッジと実際の不在着信数は異なる場合があります。この制限は、発信コール、不在着信、および着信コールで構成されます。また、古い不在着信が不在着信バッジのカウントに追加されている場合があります。これは履歴リストで上書きできます。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)]を押します。

ステップ 2 [通話履歴 (Recent)]を選択します。

ステップ 3 すべての通話履歴の表示、または特定の種類の通話履歴の表示を選択します。

- すべてのコール
- 不在履歴
- 受信コール
- Placed Calls
- 次からの最近の通話履歴を表示

[次からの最近の通話履歴を表示 (Display recents from)] オプションで通話を表示するには、[BroadWorks XSIサーバからの通話履歴を表示 \(52 ページ\)](#) を参照してください。

BroadWorks XSIサーバからの通話履歴を表示

選択に応じて、BroadWorks XSIサーバの通話ログとローカル通話ログの個別リストを表示できます。

始める前に

管理者は、電話機のメニューから[最近の履歴の表示 (Display recents)]を追加します。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)]を押します。

ステップ 2 [通話履歴 (Recent)]を選択します。

ステップ 3 [最近の通話履歴を表示 (Display recents from)] を選択し、オプションの一つを選びます。

- [サーバー (Server)] : サーバに転送され、保存されている通話のログを表示します。
- [電話機 (Phone)] : 電話機に保存された通話ログを表示します。

ステップ 4 [設定 (Set)]をクリックします。

すべての通話、不在着信、受信した通話、発信通話のリストを吸表示できます。

最近の通話履歴に戻る

手順

ステップ1 [通話履歴 (Recents)] を押します。

管理者が [不在 (Missed)] ソフトキーを設定し、不在着信があると、電話のホーム画面の [不在 (Missed)] ソフトキーを使用して [不在着信 (Missed calls)] リストにアクセスできます。

ステップ2 ダイヤルするコールレコードを選択します。

ステップ3 (任意) 通話履歴を編集するには [コールの編集 (Edit call)] を押します。

ステップ4 [通話] を押します。

最近の通話履歴を消去する

手順

ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ2 [通話履歴 (Recent)] を選択します。

ステップ3 削除するリストを選択します。

- すべてのコール
- 不在履歴
- 受信コール
- Placed Calls
- 次からの最近の通話履歴を表示

ステップ4 [オプション (Option)] を押して、[すべて削除 (Delete all)] を押します。

ステップ5 OK を押します。

通話履歴レコードからの連絡先の作成

手順

ステップ1 通話履歴を表示します。

ステップ2 [オプション (Option)] を押します。

ステップ3 [連絡先の追加 (Add contact)] を押します。

コールレコードの削除

手順

ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ2 [通話履歴 (Recent)] を選択します。

ステップ3 すべての通話履歴の表示、または特定の種類の通話履歴の表示を選択します。

- すべてのコール
- 不在履歴
- 受信コール
- Placed Calls
- 次の最近の通話履歴を表示

ステップ4 削除する個々のレコードまたはコールグループを強調表示します。

ステップ5 [オプション (Option)] を押します。

ステップ6 [入力の削除 (Delete entry)] を選択します。

ステップ7 OK を押します。

全ての通話履歴を削除

電話機のすべての通話履歴レコードを削除できます。

手順

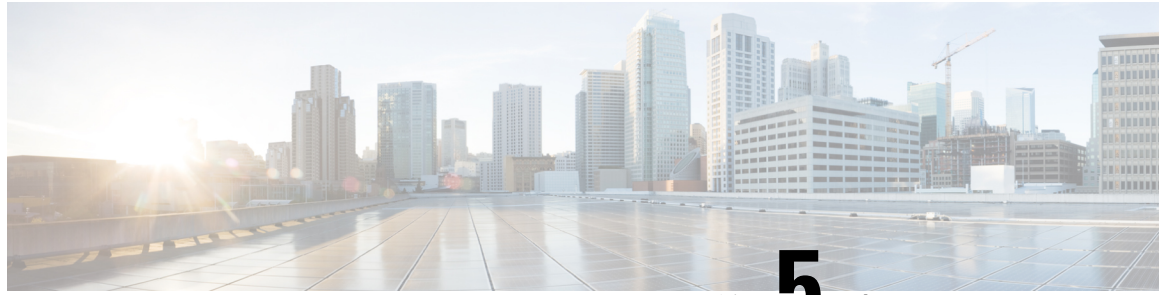
ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ2 [通話履歴 (Recent)] を選択します。

ステップ3 [すべてのコール (All calls)] を選択します。

ステップ4 [オプション (Option)] を押して、[すべて削除 (Delete all)] を押します。

ステップ5 OK を押します。



第 5 章

ボイスメール

- [ボイスメールアカウント \(55 ページ\)](#)
- [新しいボイス メッセージの確認 \(56 ページ\)](#)
- [ボイスメールへのアクセス \(56 ページ\)](#)
- [音声ボイスメールへのアクセス \(56 ページ\)](#)

ボイスメール アカウント

電話機からボイス メッセージに直接アクセスすることができます。ただし、管理者はボイスメールアカウントを設定する必要があります。ボイスメールシステムにアクセスするように電話機を設定することもできます。

管理者が電話機の **[メッセージ (Messages)]** ソフトキーを有効にした場合、ソフトキーを使用してボイスメール システムにアクセスできます。

着席していない場合は、ボイスメールシステムを呼び出してボイスメールにアクセスすることができます。管理者は、ボイスメールシステムの電話番号を提供できます。

ボイスメール システムはそれぞれ異なっているため、お使いのボイスメール システムの使用方法を説明することはできません。お使いのボイスメールコマンドの詳細については、そのボイスメール システムのユーザ マニュアルを参照するか、管理者にお問い合わせください。

電話機でのボイスメールのセットアップ

管理者が電話でボイスメールの電話番号を設定していない場合は、自分で設定することができます。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 [ユーザ設定 (User Preferences)] > [通話の設定 (Call Preferences)] を選択します。

ステップ 3 [ボイスメール (Voice mail)] にボイスメール電話番号を入力します。

ステップ4 [設定 (Set)] を押します。

新しいボイスメッセージの確認

新しいボイスメールメッセージが届いているかどうか確認するには、次のいずれかの表示を調べます。

- 不在着信の数とボイスメールメッセージの数が画面上に表示されている。新しいメッセージの数が99を超えると、プラス (+) 記号が表示されます。
- 感嘆符 (!) は、緊急のボイスメールメッセージを示します。

: 電話回線を使用する際に、スピーカーフォンから断続トーンが聞こえます。回線にボイスメッセージがある場合にのみ断続トーンが聞こえます。

ボイスメールへのアクセス

始める前に

管理者は電話機の [メッセージ (Messages)] ソフトキーを有効にします。

手順

ステップ1 [メッセージ (Messages)] ボタンを押します。

ステップ2 音声プロンプトに従います。

音声ボイスメールへのアクセス

管理者による電話機のセットアップ方法によっては、メッセージ一覧を確認しなくてもボイスメールを取得できる可能性があります。ボイスメールメッセージの一覧を使用するものの、ビジュアルガイダンスなしでメッセージにアクセスすることもある場合には、このオプションが便利です。

手順

ステップ1 スクリーン上で、[音声 (Audio)] ソフトキーを押します。

ステップ2 要求されたら、ボイスメール資格情報を入力します。



第 6 章

設定

- 呼出音の変更 (57 ページ)
- 電話機の Web ページによる着信音の割り当て (58 ページ)
- 特定の状況での電話機からのコールの転送 (58 ページ)
- 電話機の画面から [サイレント (Do Not Disturb)] をオンにします。 (59 ページ)
- 電話機のウェブページから DND をオンにする (59 ページ)
- 非通知着信の拒否 (60 ページ)
- 発信者 ID のブロック (60 ページ)
- 通話を安全化する (61 ページ)
- 自動応答ページのセットアップ (61 ページ)
- ボイスメールのセットアップ (62 ページ)
- 時間形式を変更する (62 ページ)
- 日付形式の変更 (62 ページ)
- 電話機の Web インターフェースによるスクリーンセーバーの設定 (63 ページ)
- スクリーンセーバーの変更 (64 ページ)
- 電話機の背景としてロゴを追加する (65 ページ)
- 電話機のページから壁紙を変更する (65 ページ)
- 電話機の Web ページからバックライトタイマーを調整する (66 ページ)
- 言語の設定 (66 ページ)
- パスワードの設定 (67 ページ)
- プロフィールアカウントのセットアップ (67 ページ)
- BroadWorks XSI ユーザー用に複数のロケーションを追加 (68 ページ)

呼出音の変更

着信通話の着信音を設定できます。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [着信音 (Ringtone)] > [内線 (n) の着信音 (Ext (n) - Ring tone)] (n は内線番号) を選択します。

ステップ 3 呼出音のリストをスクロールし、[再生] を押してサンプルを聞きます。

ステップ 4 [選択 (Select)] を押してから [設定 (Set)] を押して選択内容を保存します。

電話機の Web ページによる着信音の割り当て

手順

ステップ 1 電話機の Web ページで、[ユーザログイン (User Login)] > [音声 (Voice)] > [内線 (n) (Ext(n))] を選択します。(n) は内線番号です。

ステップ 2 [コール機能の設定 (Call Feature Settings)] エリアで、[デフォルト呼出音 (Default Ring)] ドロップダウンリストから呼出音を選択します。

電話回線の呼出音を指定しない場合、[呼出音なし (No ring)] を選択します。着信コール受信時に電話は鳴りません。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

特定の状況での電話機からのコールの転送

話中の時など、特定の状況で通話が転送されるように電話機を設定できます。

始める前に

特定の状況で通話を転送する前に、電話でコール転送を有効にする必要があります。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 [ユーザ設定 (User Preferences)] > [通話の設定 (Call Preferences)] を選択します。

ステップ 3 [コール転送 (Call forwarding)] で [オン (On)] を選択してコール転送を有効にします。

ステップ 4 有効にする各コール転送サービス用の電話番号を入力します。

- [すべての番号を転送 (Forward all number)] : すべての着信コールを特定の電話番号に転送します。
- [話中の番号を転送 (Forward busy number)] : プライマリ回線がアクティブ状態の場合、すべての着信コールを特定の電話番号に転送します。

- [応答のない番号を転送 (Fwd no answer number)] : 応答のない着信通話を転送します。
- [応答なし転送の遅延 (Fwd no answer delay)] : 応答遅延時間を割り当てます。

管理者がお使いの電話機の機能キー同期 (FKS) を無効にした場合、通話の転送が必要となるまでの時間を秒数として入力できます。

管理者がお使いの電話機の機能キー同期 (FKS) を有効にした場合、通話の転送が必要となるまでに鳴る着信音の回数を入力できます。

ステップ 5 [設定 (Set)] を押します。

電話機の画面から [サイレント (Do Not Disturb)] をオンにします。

集中したい時はサイレント (DND) に設定すれば、電話機をサイレント状態にして着信通話通知を抑止できます。すべての着信コール通知を抑止することも、特定の通話者の通知を抑止することもできます。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [コールの設定 (Call preferences)] > [応答不可 (Do not disturb)] を選択します。

(注) 邪魔しないてくださいメニューが画面に表示されない場合は、管理者に連絡してください。

ステップ 3 [オン (On)] を選択して DND をオンにするか、[オフ (Off)] を選択して DND をオフにします。

ステップ 4 [設定 (Set)] を押して設定を保存します。

電話機のウェブページから DND をオンにする

手順

ステップ 1 電話機の Web ページで、[ユーザログイン (User Login)] > [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択します。

ステップ 2 [補足サービス (Supplementary Services)]の下で、[DND設定 (DND Settings)]を[はい (Yes)]に設定します。

管理者が機能キー同期 (FKS) を有効にしていなければ、すべての回線で DND をオンにすることができます。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)]をクリックします。

非通知着信の拒否

発信者情報のない着信をブロックできます。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)]を押します。

ステップ 2 [ユーザ設定 (User preferences)]> [通話の設定 (Call preference)]> [匿名通話をブロック (Block anonymous call)]を選択します。

ステップ 3 [オン (On)]を選択して発信者情報が無い通話をブロックするか、[オフ (Off)]を選択して通話を許可します。

ステップ 4 [設定 (Set)]を押して設定を保存します。

発信者 ID のブロック

電話をかけるときにあなたの名前と電話番号が受信者の画面に表示されないように、発信者識別をブロックすることができます。この機能はプライバシー保護に役立ちます。

始める前に

管理者が、お使いの電話機でこのブロックCID機能を有効にします。

管理者が、XSI BroadWorksサーバーでブロックCID機能を有効にします。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)]を押します。

ステップ 2 [ユーザ設定 (User Preferences)]> [通話の設定 (Call Preferences)]を選択します。

ステップ 3 [発信者IDのブロック (Block caller ID)]を選択します。

ステップ 4 [選択 (Select)]を押して、発信者IDブロックをオンまたはオフに切り替えます。

管理者が発信者 ID のブロック機能をXSI Broadwords サーバで有効にした場合、お使いの電話機がサーバから値を取り戻し、管理者がサーバに設定した値が表示されます。この値は電話機の **[発信者IDブロック (Block caller ID)]** メニューから変更できます。

ステップ5 **[設定 (Set)]** を押して、変更を保存します。

通話を安全化する

コールを暗号化して、盗聴者から保護することができます。すべての発信通話または特定の通話に対してセキュアコール機能を設定できます。

手順

ステップ1 **[設定 (Settings)]** を押します。

ステップ2 **[ユーザ設定 (User preferences)]** > **[通話の設定 (Call preference)]** > **[セキュア通話 (Secure Call)]** を選択します。

ステップ3 セキュアコール機能を有効にする場合は **[オン (On)]** を選択し、セキュアコール機能を無効にする場合は **[オフ (Off)]** を選択します。

ステップ4 **[設定 (Set)]** を押して設定を保存します。

自動応答ページのセットアップ

手順

ステップ1 **[設定 (Settings)]** を押します。

ステップ2 **[ユーザ設定 (User Preferences)]** > **[通話設定 (Call Preference)]** > **[オートアンサーページ (Auto Answer Page)]** を選択します。

ステップ3 **[オン (On)]** を選択して自動応答ページを有効にするか、**[オフ (Off)]** を選択して自動応答ページを無効にします。

ステップ4 **[設定 (Set)]** を押して変更を保存します。

ボイスメールのセットアップ

手順

- ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。
 - ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [コールの設定 (Call preferences)] > [ボイスメール (Voice mail)] を選択します。
 - ステップ3 ボイスメールを確認する電話番号を入力します。
 - ステップ4 [設定 (Set)] を押して、割り当てられた番号を確認します。
 - ステップ5 [戻る (Back)] を押して終了します。
-

時間形式を変更する

電話機の画面に表示される現在の時間形式を変更できます。

手順

- ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。
 - ステップ2 [デバイス管理 (Device administration)] > [日時 (Date/Time)] > [時間形式 (Time format)] を選択します。

サマータイムを設定するには、[デバイス管理 (Device administration)] > [日時 (Date/Time)] > [サマータイム (Daylight savings)] を選択します。サマータイムをオンにするには [オン (On)] を選択し、オフにするには [オフ (Off)] を押します。
 - ステップ3 (任意) [デバイス管理 (Device administration)] > [日時 (Date/Time)] > [タイムゾーン (Time zone)] を選択します。
 - ステップ4 時間形式を選択し、[設定 (Set)] を押して変更を適用します。
-

日付形式の変更

電話機の画面に表示する日付の形式を変更することができます。

手順

- ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。
- ステップ2 [デバイス管理 (Device administration)] > [日時 (Date/Time)] > [日付形式 (Date format)] を選択します。
- ステップ3 日付形式を選択し、[設定 (Set)] を押して変更を適用します。

電話機の Web インターフェースによるスクリーンセーバーの設定

電話機のスクリーンセーバーを設定できます。電話機が指定された期間アイドル状態が続くと、スクリーンセーバーモードに入ります。

ボタンを押すと、電話機が通常モードに戻ります。

手順

- ステップ1 電話機のウェブページで、[音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択する。
- ステップ2 [画面 (Screen)] セクションで、次の表の説明に従ってフィールドをセットアップします。

パラメータ	説明
[スクリーンセーバーの有効化 (Screen Server Enable)]	電話機でスクリーンセーバーを有効にするには、[はい (Yes)] を選択します。電話機が指定された期間アイドル状態が続くと、スクリーンセーバーモードに入ります。 デフォルト: [いいえ (No)]
[スクリーンセーバーのタイプ (Screen saver type)]	スクリーンセーバーの種類。次のオプションを選択できます: <ul style="list-style-type: none"> • [クロック (Clock)]: 単色背景にデジタル時計を表示します。 • [ダウンロード画像 (Download Picture)]: 電話機の Web ページから取得された画像を表示します。 • [ロゴ (Logo)]: 電話画面にロゴを表示します。[ロゴの URL (Logo URL)] フィールドでロゴ画像を追加します。

パラメータ	説明
[スクリーンセーバー待機 (Screen Saver Wait)]	スクリーンセーバーが表示されるまでのアイドル時間の長さです。 スクリーンセーバーが開始されるまでのアイドル時間の秒数を入力します。 デフォルト：300
[画像のダウンロードURL (Picture Download URL)]	電話画面の背景に表示する (.png) ファイルを示す URL です。写真をスクリーンセーバータイプとして選択した場合、この画像が電話機の画面にスクリーンセーバーとして表示されます。 新しい壁紙をダウンロードするために正しくない URL を入力すると、電話は新しい壁紙にアップグレードすることができず、既存のダウンロードされた壁紙を表示します。電話機にダウンロード済みの壁紙がない場合は、グレーの画面が表示されます。
[ロゴのURL (Logo URL)]	ロゴ画像が保存されている場所の URL またはパスを入力します。ロゴをスクリーンセーバータイプとして選択すると、この画像は電話画面にスクリーンセーバーとして表示されます。

ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

スクリーンセーバーの変更

電話機のスクリーンセーバーを有効にして、スクリーンセーバーの種類とスクリーンセーバーが表示される前に電話機がアイドル状態になるまでの時間を指定できます。

手順

ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [画面設定 (Screen preferences)] > [スクリーンセーバー (Screen saver)] を選択します。

ステップ3 [オン (On)] を選択してスクリーンセーバーをオンにし、[オフ (Off)] を選択してオフにします。

ステップ4 次の設定を選ぶには [スクリーンセーバーの設定 (Screen saver settings)] を選択します:

- [スクリーンセーバーのタイプ (Screen saver type)] : 次のオプションのいずれかを選択します。
 - [クロック (Clock)] : 円形の時計が描かれた壁紙を背景に表示します。
 - [ダウンロード画像 (Download Picture)] : 電話機の Web ページから取得された画像を表示します。
 - [ロゴ (Logo)] : 電話機のスクリーンセーバーとしてロゴを表示します。この画像は、電話機の Web ページの [ロゴの URL (Logo URL)] フィールドで追加されます。
- [トリガー間隔 (Trigger interval)] : スクリーンセーバーがオンになるまでの、電話機がアイドル状態となっている秒数を入力します。
- [更新間隔 (Refresh interval)] : スクリーンセーバーが更新されるまでの秒数を入力します (画像のローテーションを選択した場合など) 。

ステップ 5 [設定 (Set)] を押します。

電話機の背景としてロゴを追加する

電話画面の背景としてロゴアイコンを追加するには、電話機の Web ページから追加します。

手順

- ステップ 1 電話機の Web ページで、[ユーザログイン (User Login)] > [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択します。
- ステップ 2 [画面 (Screen)] セクションで、[電話機の背景 (Phone Background)] フィールドから [ロゴ (Logo)] を選択し、[ロゴの URL (Logo URL)] フィールドにロゴ画像が保存されている場所の URL またはパスを入力します。
- ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

電話機の背景にロゴを追加した後で、[電話機の背景 (Phone Background)] リストから [デフォルト (Default)] を選択して変更を保存すると、電話画面のロゴアイコンは消えます。

電話機のページから壁紙を変更する

管理者は、電話機のデフォルトの壁紙を、利用可能ないずれかの壁紙に変更することを許可できます。

手順

ステップ 1 電話機の Web ページで、[ユーザーログイン (User Login)] > [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択します。

ステップ 2 [電話機の背景 (Phone Background)] フィールドの [画面 (Screen)] セクションで、任意のオプションを電話機の壁紙として選択します。

- [デフォルト (Default)] : 電話機には壁紙がありません。電話機の画面に壁紙が追加されない場合、電話機の画面にはモノクロの壁紙が表示されます。
- [ロゴ (Logo)] : 電話機の Web ページで、電話機の背景のオプションとして [ロゴ (Logo)] を選択できます。[ロゴの URL (Logo URL)] に追加したロゴは、壁紙として使用されません。

注意 [ロゴの URL (Logo URL)] または [画像のダウンロード URL (Picture Download URL)] は、255 文字を超えないようにする必要があります。

ロゴの表示領域は、電話機の画面の中央です。電話機のロゴ表示領域のサイズは、128 × 128 ピクセルです。元のロゴのサイズが表示領域に収まらない場合、ロゴは表示領域に合わせてスケーリングされます。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

電話機の Web ページからバックライトタイマーを調整する

あらかじめ設定した時間に電話機のバックライトを無効にすることで、省エネできます。バックライトがオフの状態でも、電話機のデスクトップは表示されたままです。

手順

ステップ 1 電話機の Web ページで、[ユーザーログイン (User Login)] > [詳細 (Advanced)] > [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択します。

ステップ 2 [画面 (Screen)] の下で、[バックライトタイマー (Back Light Timer)] パラメータの期間を選択します。

言語の設定

お使いの携帯電話の設定によっては、お使いの携帯電話の言語を変更することができます。

手順

-
- ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。
 - ステップ2 [デバイス管理 (Device administration)] > [言語 (Language)] を選択します。
 - ステップ3 使用可能な言語のリストから言語を選択します。
 - ステップ4 [保存] を選択します。
-

パスワードの設定

ネットワークセキュリティを維持するために、電話機のパスワードは定期的に再設定してください。盗難を避けるため、すべてのパスワードを安全な場所に保管してください。

始める前に

既存のパスワードが必要です。

手順

-
- ステップ1 [設定 (Settings)] を押します。
 - ステップ2 [デバイス管理 (Device administration)] > [パスワードの設定 (Set password)] を選択します。
 - ステップ3 [旧パスワード (Old password)] フィールドに現在使用しているパスワードを入力します。
 - ステップ4 [新規パスワード (New password)] フィールドと [新規パスワードの再入力 (Reenter new password)] フィールドに新しいパスワードを入力します。
 - ステップ5 [保存] を選択します。
-

プロフィールアカウントのセットアップ

[プロフィールアカウントの設定 (Profile account setup)] 画面でプロンプトが表示されたら、プロビジョニングプロフィールと電話機を再同期するために、認証資格情報を入力する必要があります。

プロフィールアカウントの設定画面がわからなくなった場合、電話メニューまたは、利用可能な場合はセットアップからもアクセスできます。

電話機がサインインに失敗する場合、管理者にお問い合わせください。

始める前に

管理者は、電話機でプロフィール認証タイプを指定し、認証資格情報を提供します。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 [デバイス管理 (Device administration)] > [プロフィールアカウント設定 (Profile account setup)] を選択する。

あなたのユーザ名とパスワードは自動的に入力されます。以前にユーザ名とパスワードが追加されていない場合、これらの欄は空白です。

ステップ 3 [サインイン (Sign in)] を押して、ユーザ名とパスワードを保存します。

(注) [ユーザ名 (Username)] 欄または[パスワード (Password)] 欄のいずれかが空白の場合、電話機では灰色の[サインイン (Sign in)] ソフトキーが表示され、ソフトキーを押すことはできません。

ステップ 4 (任意) 別の認証情報でログインする場合は、新しいユーザー名とパスワードを入力します。

BroadWorks XSIユーザー用に複数のロケーションを追加

ユーザは、電話機の内線に複数の場所を追加できます。このため、着信コールをユーザの電話機から、内線に追加した他のモバイルフォンまたはデスクフォンにシームレスに移動させることができます。

始める前に

管理者が、内線でエニウェア機能を有効にしています。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ 2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [コールの設定 (Call preferences)] を選択します。

ステップ 3 [エニウェア (Anywhere)] を選択します。

ステップ 4 (任意) BroadWorks エニウェアが複数の回線で構成されている場合は、回線を選択します。

ステップ 5 [場所 (Locations)] 画面に連絡先の番号と名前を追加します。

入力可能な名前の最大長は 25 です。[名前 (Name)] フィールドを空のままにしておくこともできます。

入力可能な番号の最大長は 20 です。

ステップ 6 場所を有効または無効にします。

ステップ 7 [保存 (Save)] を押して、場所を [場所 (Locations)] リストに追加します。



第 7 章

製品の安全性とセキュリティ

- [安全性とパフォーマンスの情報 \(69 ページ\)](#)
- [準拠宣言 \(71 ページ\)](#)
- [シスコ製品のセキュリティ \(78 ページ\)](#)
- [重要なオンライン情報 \(78 ページ\)](#)

安全性とパフォーマンスの情報

停電

電話機を経由して緊急サービスにアクセスするには、その電話機が電力を受信する必要があります。停電が発生した場合、電源が復旧するまでは、電話サービスおよび緊急コールサービスダイヤルが機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、電話サービスおよび緊急コールサービスダイヤルを利用する必要があります。

規制区域

この電話機の無線周波数 (RF) は、特定の規制区域用に設定されます。特定の規制区域の外部でこの電話機を使用すると、電話機は適切に機能せず、現地の規制に違反するおそれがあります。

ヘルスケア環境

本製品は医療機器ではないため、他の装置や機器からの妨害を受けやすい無認可の周波数帯を使用しています。

外部デバイス

不要な無線周波数（RF）信号および可聴周波数（AF）信号を遮断する高品質の外部デバイスを使用することをお勧めします。外部デバイスには、ヘッドセット、ケーブル、コネクタが含まれます。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次の方法で対処することをお勧めします。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、高品質なシールドおよびコネクタを備えたケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、およびコネクタのパフォーマンスを保証できません。



注意 欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

電話機への電力供給方法

次のいずれかの方法で携帯電話に電力を供給できます：

- 電話機に付属している電源アダプタを使用します。
- ネットワークが Power over Ethernet（PoE）に対応している場合、使用する会議電話をネットワークに接続することができます。

ご使用のネットワークが PoE に対応しているかどうか不明な場合は、管理者に確認してください。

ネットワーク輻輳時の電話機の挙動

ネットワークパフォーマンスの低下の原因となるものは、電話の音声に影響を及ぼすため、場合によっては、通話がドロップする可能性があります。ネットワークパフォーマンスの低下は、次のような原因が考えられます。

- 内部ポート スキャンやセキュリティ スキャンなどの管理タスク
- サービス拒否攻撃など、ネットワーク上で発生した攻撃

UL 警告

デバイスに接続されたLAN/イーサネットケーブルは、屋外に延長させないでください。

準拠宣言

EU への適合宣言

CE マーキング

機器および包装に次の CE マークが貼付されています。



EU への RF 被曝に関する宣言

このデバイスは EU EMF 指令 2014/53/EU の制限に従って評価され、準拠が確認されています。

適合宣言（米国）

Part 15 無線デバイス



注意 Part 15 に適合した無線デバイスは、当該周波数で動作する他のデバイスと干渉のない状態で動作します。Cisco による明確な許可なしに製品への変更を行った場合（Cisco が生産していないアンテナの使用を含む）、ユーザはこのデバイスの使用を禁止される可能性があります。

適合宣言（カナダ）

このデバイスは、カナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 規格に適合しています。次の 2 つの条件に従って動作するものとします。（1）本製品が干渉の原因となることはありません。また、（2）本製品はデバイスの望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、すべての干渉を受け入れる必要があります。この電話機を使用する場合、通信のプライバシーを確保できない可能性があります。

本製品は、該当する技術革新、科学および経済開発に関するカナダの技術仕様を満たしています。

Avis de Conformité Canadien

Cet appareil est conforme aux normes RSS exemptes de licence RSS d'Industry Canada. Le fonctionnement de cet appareil est soumis à deux conditions : (1) ce périphérique ne doit pas causer d'interférence et (2) ce périphérique doit supporter les interférences, y compris celles susceptibles d'entraîner un fonctionnement non souhaitable de l'appareil. La protection des communications ne peut pas être assurée lors de l'utilisation de ce téléphone.

Le présent produit est conforme aux spécifications techniques applicables d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada.

カナダの RF 被曝に関する声明

このデバイスは、電波の被曝に関する ISED RSS-102 R5 で参照されている制限事項を満たしています。

お使いの装置には、無線送信機と受信機が含まれています。装置は、カナダ保健省安全規則 6 を参照する RSS-102 で参照されている電波（無線周波電磁界）への暴露に関する一般大衆（非制御）の制限を超えないように設計され、年齢や健康に関係なく、すべての人の安全を確保するための十分な安全マージンが確保されています。

このため、システムは、エンドユーザが直接アンテナに触れずに操作できるように設計されています。ユーザまたはオペレータの全体的な暴露を減らすように設計されている規制のガイドラインに従って、指定されているユーザからの最低距離を確保できるようにアンテナを設置できる場所にシステムを配置することを推奨します。

デバイスには、無線認証プロセスの一部としてテストが実施され、該当する規制への準拠が確認されています。

Déclaration d'Exposition aux RF Canadienne**CE PÉRIPHÉRIQUE RESPECTE LES LIMITES DÉCRITES PAR LA NORME RSS-102 R5 D'EXPOSITION À DES ONDES RADIO**

Votre appareil comprend un émetteur et un récepteur radio. Il est conçu pour ne pas dépasser les limites applicables à la population générale (ne faisant pas l'objet de contrôles périodiques) d'exposition à des ondes radio (champs électromagnétiques de fréquences radio) comme indiqué dans la norme RSS-102 qui sert de référence au règlement de sécurité n°6 sur l'état de santé du Canada et inclut une marge de sécurité importantes conçue pour garantir la sécurité de toutes les personnes, quels que soient leur âge et état de santé.

En tant que tels, les systèmes sont conçus pour être utilisés en évitant le contact avec les antennes par l'utilisateur final. Il est recommandé de positionner le système à un endroit où les antennes peuvent demeurer à au moins une distance minimum préconisée de l'utilisateur, conformément aux instructions des réglementations qui sont conçues pour réduire l'exposition globale de l'utilisateur ou de l'opérateur.

Le périphérique a été testé et déclaré conforme aux réglementations applicables dans le cadre du processus de certification radio.

カナダの高出力レーザーに関する声明

5250 ~ 5350 MHz および 5650 ~ 5850 MHz 帯域では高出力レーザーが主ユーザ（つまり、優先ユーザ）として割り当てられているため、これらのレーザーによる LE-LAN デバイスへの干渉および/または損傷が生じる場合があることに注意してください。

Devraient également être informés des utilisateurs que les radars à haute puissance sont désignés comme utilisateurs principaux (à savoir des utilisateurs prioritaires) des bandes 5250-5350 MHz et 5650 à 5.850 MHz et que ces radars pourraient provoquer des interférences et / ou endommager les périphériques LE-LAN.

ニュージーランドへの適合宣言

接続許可（PTC）一般警告

端末装置の任意のアイテムに対する Telepermit の付与は、Telecom がそのアイテムがネットワークへの接続のための最小条件を満たしていること認めたことを示しているに過ぎません。それは Telecom による製品の保証を意味するものではなく、いかなる種類の保証も提供しません。特に、ある品目が別のメーカーやモデルの Telepermit 許可済み装置と組み合わせてあらゆる局面で正常に動作することを保証するものではなく、ある製品が Telecom の全ネットワークサービスと互換性があることを示すものでもありません。



適合宣言 (台湾)

DGT の警告宣言

避免電波干擾，本器材禁止於室外使用5.25-5.35 赫赫頻帶

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電信。

低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

低功率射頻電機技術規範

4.7 無線資訊傳輸設備

4.7.5 在5.25-5.35赫赫頻帶內操作之無線資訊傳輸設備，限於室內使用。

4.7.6 無線資訊傳輸設備須忍受合法通信之干擾且不得干擾合法通信；如造成干擾，應立即停用，俟無干擾之虞，始得繼續使用。

4.7.7 無線資訊傳輸設備的製造廠商應確保頻率穩定性，如依製造廠商使用手冊上所述正常操作，發射的信號應維持於操作頻帶中。

197048

本器材須經專業工程人員安裝及設定，始得設置使用，且不得直接販售給一般消費者



省電力およびビジュアル警告通知

視力保護警語：使用過度恐傷害視力
低功率射頻電機警語：

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性之功能。

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

4.7.9.1 應避免影響附近雷達系統之操作。

4.7.9.2 高增益指向性天線只得應用於固定式點對點系統。

適合宣言（アルゼンチン）

Advertencia

No utilizar una fuente de alimentación con características distintas a las expresadas ya que podría ser peligroso.

CP-8832-MIC-WLS CNC ID: 22259

CP-8832 CNC ID: 21503

適合情報（ブラジル）

Art. 6º - 506

この装置はセカンダリタイプのデバイスです。つまり、同じタイプのデバイスによって引き起こされた干渉であったとしても有害な干渉に対する保護はなく、プライマリタイプのデバイスに対していっさいの干渉を引き起こすこともできません。

詳細は、次のURLを参照してください。 <http://www.anatel.gov.br>

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.

Site Anatel: <http://www.anatel.gov.br>



適合宣言（シンガポール）

**Complies with
IMDA Standards
DB101992**

適合情報（中国）

クラス A 警告宣言


この宣言は、Cisco IP 会議用電話 8832NR に適用されます。

声明：此为A级UC系统产品附件(中国大陆),在生活环境中,该产品可能会造成无线电干扰,在这种情况下,可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

適合情報（日本）

クラス B 機器の VCCI コンプライアンス



日本 無線コンプライアンス CP-8832 

「5.2/5.3GHz は日本では屋内使用に限定」

適合情報（韓国）



R-CMM-TNY-CP-8832-MIC--MIC-8832-MIC および CP-8832-POE



R-R-TNY-CP-8832 (CP-8832-NR)

適合情報（メキシコ）

IFETEL: RCPCICP18-0445



承認：NYCE/CT/0125/18/TS

適合情報（ロシア）

ユーラシア税関同盟マーク（ロシア、ベラルーシ、カザフスタン）



FCC 準拠宣言

Federal Communications Commission（FCC; 連邦通信委員会）は、次の項目に関する準拠宣言を義務付けています。

FCC Part 15.19 宣言

本機器は、FCC ルール Part 15 に準拠しています。次の2つの条件に従って動作するものとします。1) 本製品によって、有害な干渉が発生することはない。2) 本製品は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。

FCC Part 15.21 宣言

装置に対し、準拠に責任を負う関係者によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、ユーザがこの装置を使用する権利は無効になります。

本機器は、FCC ルール Part 15 に準拠しています。次の2つの条件に従って動作するものとします。1) 本製品によって、有害な干渉が発生することはない。2) 本製品は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。この電話機を使用する場合、通信のプライバシーを確保できない可能性があります。

FCC RF 被曝に関する宣言

この装置は、制御されていない環境に対して規定された FCC 被曝制限に準拠しています。エンドユーザは、特定の操作マニュアルに従い、RF 被曝に関する準拠事項を満たす必要があります。

FCC レシーバーおよびクラス B デジタル装置に関する宣言

ます。このトランスミッタは、ユーザから 20 cm 以上離して使用する必要があり、他のアンテナまたはトランスミッタと同じ場所に配置したり、同時に操作したりすることはできません。

5150 ~ 5250 MHz の帯域で動作するデバイスは、同一チャネルのモバイル衛星システムへの有害な電波干渉が発生する可能性を減らすため、屋内でのみ使用するようになっています。

FCC レシーバーおよびクラス B デジタル装置に関する宣言

この製品はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定されたクラス B デジタル装置の仕様に準拠しています。これらの制限は、住宅地で使用したときに、有害な干渉を防止する適切な保護を規定したものです。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があります。手順に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合、装置のオン/オフを切り替えると干渉を確認できます。その場合は、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。
- 装置間の間隔を大きくする。
- 装置をレシーバーとは別のコンセントに接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオまたは TV 技術者に支援を要請する。

シスコ製品のセキュリティ

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国の法律の対象となります。Cisco の暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意したものと見なされます。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、<https://www.bis.doc.gov/policiesandregulations/ear/index.htm> をご覧ください。

重要なオンライン情報

エンドユーザ ライセンス契約書

エンドユーザ ライセンス契約書 (EULA) は次の場所にあります。 <https://www.cisco.com/go/eula>

『Regulatory Compliance and Safety Information』

Regulatory Compliance and Safety Information (RCSI) は次の場所にあります。

https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cuipph/8832/regulatory_compliance/RCSI-0314-book.pdf

